

【別添資料】

平成27年度  
事務事業評価結果  
(評価対象年度：平成26年度)

※事務事業評価シート中、平成28年度から平成30年度の事業計画及び事業費は、平成28年3月に実施計画として公表します。

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

環境保全事業		担当部課	記入者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	10101	企画総務部 総務課		1	環境基本計画策定事業	予算科目	款	4	衛生費
旧実施計画事業番	87	総計コード①	1-1	2	地球温暖化対策推進事業		項	2	環境保全費
		基本目標	便利で快適なまち	3	環境教育事業		目	1	環境保全総務費
		基本施策	恵まれた環境の保全	4		予算事業		2	環境保全事業費
		施策分野	環境保全・富士山	5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画アクションプログラムに基づき計画を推進し、町内全域の環境保全に関する取組を推進する。</li> <li>・環境学習や環境保全のための地域活動を実践する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画アクションプログラムに基づき計画を推進し、環境基本計画調査内会議、環境基本計画推進会議、環境審議会を開催した。</li> <li>・温室効果ガス（二酸化炭素）の削減基準年度を平成21年度（2009）の3,099tと設定し、平成23～27年度の5年間で二酸化炭素排出量を6%削減する目標を策定した。平成26年度（2014）排出量は2,197t、削減量は902tで、削減率は29.1%となった。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度に環境基本計画アクションプログラムに基づき実施した事業について、環境基本計画庁内会議、環境基本計画推進会議、環境審議会にて計画の進捗状況を点検・評価等を行い、年次報告書を作成し、各事業の進捗状況を報告する。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画調査内会議を2回開催、環境基本計画推進会議を2回開催、環境審議会を1回開催した。</li> <li>・平成27年4月導入の指定ごみ袋制度に伴う新たなごみの分別・出し方の周知・徹底のためのガイドブック及びカレンダーを作成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画アクションプログラムに基づき計画を推進する。環境基本計画庁内調整会議、環境基本計画推進会議、環境審議会により、計画の進捗状況の点検・評価等を行い、年次報告書を作成し、各事業の進捗状況を公表する。</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	33	33	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	757	875	0	0	0
	一般財源	2,141	1,584	0	0	0
	事業費計	2,931	2,492	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

生涯学習推進事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	10105	教育部 生涯学習課		1	富士山学習会事業	予算科目	款	9 教育費
旧実施計画事業番		総計コード①	1-1	2			項	5 社会教育費
		基本目標	便利で快適なまち	3			目	2 生涯学習推進費
		基本施策	恵まれた環境の保全	4		予算事業	2	生涯学習推進費
		施策分野	環境保全・富士山	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連携し、町民ニーズに応えた多彩な事業を実施する。</li> <li>各種教室、講演会、発表会等の生涯学習機会の充実を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術鑑賞会、ミュージカル、公開収録等の自主文化事業や「町民講座」や「ふるさと発見講座」の教養講座の他、各種趣味教室、子ども向け事業など町民のニーズに応えた多彩な事業を実施した。</li> <li>教室や団体の発表の場としての「町民文化祭」や「生涯学習フェスティバル」を開催し、生涯学習活動参画への契機とすることができた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「町民講座」や「ふるさと発見講座」の教養講座の他、子ども向け事業を継続的に開講する。</li> <li>富士山と世界文化遺産の構成資産について学習できる機会を設ける。</li> <li>生涯学習推進講演会を継続的に開催する。</li> <li>「生涯学習フェスティバル」を継続的に開催し、教室や団体等の生涯学習活動を発表できる機会を設ける。</li> <li>文化会館等運営協議会を設置し、指定管理者との協働により生涯学習事業の推進を行う。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術鑑賞会、ミュージカル等の自主文化事業を開催(富士山学習含む)</li> <li>「町民講座」や「ふるさと発見講座」の教養講座の他、趣味教室、子ども向け事業を開催</li> <li>生涯学習推進講演会を開催</li> <li>教室や団体の発表の場として「町民文化祭」、「生涯学習フェスティバル」を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民講座、ふるさと発見講座等の教養講座を開催(富士山学習含む)</li> <li>「わくわく科学教室」などの子ども向け事業を開催</li> <li>県と共催で生涯学習推進講演会を開催</li> <li>教室や団体の発表の場として「町民文化祭」、「生涯学習フェスティバル」を開催</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	60	60	0	0	0
	一般財源	1,991	2,157	0	0	0
	事業費計	2,051	2,217	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

公害対策事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	10201	企画総務部 総務課		1	町内河川等水質検査実施事業	予算科目	款	4	衛生費
旧実施計画 事業番	134	総計コード①	1-2	2			項	2	環境保全費
		基本目標	便利で快適なまち	3			目	2	公害対策費
		基本施策	清らかで豊かな水資源の保全と活用	4		予算事業			公害対策費
		施策分野	水資源・水辺	5					

事業概要	・町内の水質（河川、工業排水、湧水等地下水）、大気（ダイオキシン）の分析調査測定を定期的実施し、水質や大気の状態（安全）を確認（監視）する。これにより町の水質や大気の状態を把握し、環境保全を図る。
事業の成果 （課題・反省 点を含む）	・町の大気や水質の環境の状態を把握するなど環境保全を図るため、町内の大気（ダイオキシン）、水質（河川、工業排水、湧水等地下水）の分析調査測定を定期的実施し、大気や水質の状態（安全）を確認（監視）した。分析の結果、町の水質や大気の状態は異常は検出されていない。
今後の展開 （事業の成果を 踏まえた今後の 展開）	町内の水質（河川、工業排水、湧水等地下水）、大気（ダイオキシン）について、引き続き調査分析を行い、環境保全を図る。 【河川水質測定】 佐野川（4回）、主要30河川（1回）、鮎沢川（御殿場市境・県境＝各1回）、足柄上堰（1回） 【特定事業場水質測定】 19事業所（1回～4回）【工業排水路水質検査】 富士小山工業団地、ハイテクパーク富士小山（各12回）【湧水・井戸等水質調査】 菅沼谷戸地区湧水3カ所（各1回）※三菱マテリアルグループ地域協議会へ報告 【地下水水質測定】 菅沼坂下地区（4回）、菅沼坂下地区（1回）、須川養魚場井戸

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）	
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		【河川水質測定】8回 【特定事業場水質測定】19事業所 【工業排水路水質検査】12回 【湧水・井戸等水質調査】3カ所 【地下水水質測定】5回 【大気中ダイオキシン類測定】4回 【環境調査分析測定】1回を実施。異常なし。	【河川水質測定】 【特定事業場水質測定】 【工業排水路水質検査】 【湧水・井戸等水質調査】 【地下水水質測定】 【大気中ダイオキシン類測定】 【環境調査分析測定】を実施。				
	事業費 （千円）	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
		国・県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		2,943	2,691	0	0	0	
事業費計	2,943	2,691	0	0	0		

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

地下水保全事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		企画総務部 町長戦略課		1	地下水保全指導事業	予算科目	款	90	0 予算事業
新番号	10202	総計コード①	1-2	2	地下水等定期観測事業		項	1	0 予算事業
旧実施計画事業番	289	基本目標	便利で快適なまち	3	揚水量監視事業		目	1	0 予算事業
		基本施策	清らかで豊かな水資源の保全と活用	4		予算事業		2	0 予算事業
		施策分野	水資源・水辺	5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町土地利用指導要綱に従い、地下水保全を目的とした適切な指導を行う。</li> <li>・地下水や湧水の継続的な観測を行うことで、地下水位と湧水量の変化を把握する。</li> <li>・地下水揚水施設設置を届け出た事業所などから年間の採水量の報告を受け、町内で利用されている地下水量を把握する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H26年度は、新規の揚水設備の設置届は無かったが、土地利用委員会に地下水担当課として出席し、事業者に対し適切な助言等を行った。</li> <li>・町内2か所の観測箇所において、毎月1回地下水位の計測を行い、年間データをまとめて特に異常無き事を確認し、県に報告した。</li> <li>・H26年度は揚水量監視事業を実施しなかったが、今後は大規模な企業誘致等を見据えて、確実に監視事業を実施していくものとする。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水は本町にとって貴重な財産であることから、今後も適切な定期観測と調査を続け、この大切な資源(財産)を後世に引き継いでいくものとする。</li> <li>・今後の本町における大規模な企業誘致等を見据え、地下水を有効に活用していくための基本的な指針を策定する。</li> </ul>

		平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町土地利用指導要綱に基づく指導、助言</li> <li>・地下水位と湧水量の定期観測</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町土地利用指導要綱に基づく指導、助言</li> <li>・地下水位と湧水量の定期観測</li> <li>・町内事業所の採水量調査</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
	事業費計	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

ごみ減量・リサイクル推進事業		担 当 部 課 企画総務部 総務課		記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	10301	総計コード①	1-3		1	ごみ減量促進事業	予算科目	款	4	衛生費
旧実施計画事業番	109	基本目標	便利で快適なまち		2	資源リサイクル活動奨励金交付事業		項	2	環境保全費
		基本施策	ごみの減量化と適切な処理		3			目	1	環境保全総務費
		施策分野	ゴミ・環境衛生		4		予算事業			
					5				4	ごみ減量・リサイクル推進事業費

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定ゴミ袋の導入によるごみ分別収集の徹底や再利用（資源化）によりごみの減量を図る。</li> <li>古紙類やアルミ缶などの資源回収として集める団体に集めた量に応じて奨励金を交付する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル活動を通じて、日常生活の中で発生する廃棄物を再び資源として利用してもらうことを促進し、リサイクルやごみ減量等の問題についての町民の関心を高めることができた。こうした取り組みにより、古紙類やアルミ缶などの資源を308 t回収し、H22（計画策定時）の245 tに比べ63 t増やすことができた。</li> <li>平成27年4月導入の指定ごみ袋制度に伴う新たなごみの分別・出し方の周知・徹底のためのガイドブック及びカレンダーを作成した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小山町資源リサイクル活動奨励交付金制度を広報紙等で広くPRする。</li> <li>活動団体に他団体の活動状況等の情報提供を行う。</li> <li>活動団体毎に、収集量に応じて、8円/kgを交付する。</li> <li>廃棄物処理や不法投棄など町民意見の聴取の必要がある時は、廃棄物減量等推進審議会を開催する。</li> <li>平成29年10月稼働予定のリサイクルセンター建設に伴うガイドブック及びカレンダーの見直しを行う。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年5月15日から食品トレイの拠点回収事業を開始。事業者は古着・食品トレイを、無償で回収・処理を行っている。現在、売渡金額は、2円/kgである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小山町資源リサイクル活動奨励交付金制度を広報紙等で広くPRする。</li> <li>活動団体に他団体の活動状況等の情報提供を行う。</li> <li>活動団体毎に、収集量に応じて、交付金を交付する。</li> </ul>			
	財源内訳 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	3,587	3,350	0	0	0
	事業費計	3,587	3,350	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

景観形成推進事業		担 当 部 課 経済建設部 都市整備課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	10401	総計コード①	1-4	1	眺望景観スポット整備事業	予算科目	款	7	土木費
旧実施計画 事業番	179	基本目標	便利で快適なまち	2			項	4	計画調査費
		基本施策	人と自然が調和する景観の形成と環境美化の推	3			目	2	都市計画費
		施策分野	景観・環境美化	4		予算事業		4	景観形成推進事業費
				5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画及び景観条例に基づき、建築物等の形態や意匠を誘導することにより、美しい景観の保全及び形成を図り、町民の豊かで活力ある生活の実現及び魅力あるまちづくりに寄与する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年7月に景観行政団体に移行し、景観条例・景観計画の策定に着手した。</li> <li>・策定にあたり策定委員会及び懇話会を設置し、開催した。また町民とのワークショップを開催することで、町民の満足度をあげることができた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度には、景観条例及び景観計画を策定。</li> <li>・平成28年度以降は、景観条例及び景観計画の施行により、その基本方針に則り、景観審議会等を開催しながら本町の景観の保全と形成に取り組む。</li> <li>・届出制度を運用することにより、周囲の景観を阻害するような行為を制限する。</li> <li>・優れた景観事例を表彰することにより、町民や事業者等の意識の向上を図る。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画策定委員会、景観懇話会を設置。</li> <li>・景観計画策定委員会1回開催。</li> <li>・景観懇話会1回開催。</li> <li>・須走らしい景観を考えるワークショップ3回開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画策定委員会2回開催。</li> <li>・景観懇話会2回開催。</li> <li>・須走らしい景観を考えるワークショップ2回開催。</li> <li>・景観計画、景観条例の策定に向けてパブリックコメントを実施。</li> <li>・景観計画(案)の説明会を実施(2回)。</li> <li>・景観計画を都市計画審議会に諮問。</li> <li>・景観条例を12月議会に上程。</li> <li>・1～3月を周知期間とし、町民及び事業者等に周知する。</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	3,056	2,798	0	0	0
	事業費計	3,056	2,798	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

環境美化事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	10404	企画総務部 総務課		1	美化活動推進事業	予算科目	款	4	衛生費
旧実施計画 事業番	87	総計コード①	1-4	2	ペット飼育マナー啓発事業		項	2	環境保全費
		基本目標	便利で快適なまち	3			目	1	環境保全総務費
		基本施策	人と自然が調和する景観の形成と環境美化の推	4		予算事業	3	環境美化事業費	
		施策分野	景観・環境美化	5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内全域において、春、秋の一斉清掃を実施し、町民の環境美化に対する意識の醸成を図る。</li> <li>・ペットの適正飼育に努めてもらうように、広報誌等を活用し、マナーに対する意識を啓発する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●春、秋の一斉清掃や富士山一斉清掃を実施した。</li> <li>●狂犬病予防注射の実施率を高める。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●狂犬病予防注射の実施について、広報紙等を使い広くPRし、未実施者には葉書や電話で催告する。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>●春、秋の一斉清掃や富士山一斉清掃を実施した。</li> <li>●918頭に狂犬病予防注射の実施し、未実施者には葉書や電話で催告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●春、秋の一斉清掃や富士山一斉清掃を実施する。</li> <li>●狂犬病予防注射の実施について、広報紙等を使い広くPRし、未実施者には葉書や電話で催告する。</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	33	33	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	757	875	0	0	0
	一般財源	2,141	1,584	0	0	0
	事業費計	2,931	2,492	0	0	0



平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

上水道資本的事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	51	水道特会
新番号	10501	経済建設部 上下水道課		1	第4期上水道拡張事業	予算科目	款	0
旧実施計画事業番	129	総計コード①	1-5	2			項	0
		基本目標	便利で快適なまち	3			目	0
		基本施策	安全な水の安定供給	4		予算事業		
		施策分野	上水道	5			0	

事業概要	<p>○適正な上水道水源施設の整備及び上水道第5期拡張事業に伴う配水施設の整備を行い、安心・安定な供給に努める。</p> <p>○耐震継手を有する水道管の採用を行い、耐震化率の向上を目指す。また経年管（老朽管）の更新を行い安定供給を図る。</p> <p>○震災時の避難箇所や病院等への給水を最優先した計画的な事業推進を行い、安心・安定な供給を図る。</p>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<p>基本計画において、平成26年度に工事予定の配水管布設延長L=3,000mに対し、実績はL=1,742mであった。減少の要因は新東名側道整備に伴う配水管布設工事であり側道整備の遅れによるものである。その他の工事については計画どおり進んでいる。</p> <p>管路耐震化率については毎年1%向上を目標としているが、平成26年度末の管路耐震化率は19.7%（30,957/157,100）と前年度に比べ0.3%の伸び率となった。要因としては新設工事が多く布設替え工事が少なかった為である。主要な幹線（φ150以上）の管路耐震化率については前年度より0.9%向上し29.9%となり計画どおり進んでいる。</p>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<p>○上水道第5期拡張事業に加え、内陸フロンティア事業に伴う配水施設整備事業を実施する。</p> <p>内陸フロンティア事業については、平成28年度に変更認可申請書を作成し平成29年度に国に申請書の提出をする。併せて、配水池の築造及び配水管の整備を実施する。</p> <p>○上水道第5期拡張事業については、老朽化した配水池の更新を行い、安心・安定な供給を図る。また、配水管布設工事・布設替え工事を計画的に行い、管路耐震化率を毎年1%向上するように事業を実施する。</p>

事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）	平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）			
		配水管敷設延長 L=1,742m 耐震化率 19.7% 非常通報装置設置 2基 第5期拡張事業の軽微変更を作成した。	配水管敷設延長 L=1,900m 耐震化率 21% 非常通報装置設置 3基 第5期拡張事業の軽微変更を申請する。					
事業費 （千円）	決算額		予算現額		予算要求額		計画額	
	財源内訳	国・県支出金	32,970	31,470	0	0	0	0
		地方債	10,000	20,000	0	0	0	0
		その他特定財源	641	13,250	0	0	0	0
		一般財源	128,353	166,508	0	0	0	0
	事業費計	171,964	231,228	0	0	0	0	

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

浄化槽設置補助金事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		企画総務部	おやまで暮らそう課	1	浄化槽設置補助金事業	予算科目	款	4 衛生費
新番号	10602	総計コード①	1-6	2			項	2 環境保全費
旧実施計画 事業番	96	基本目標	便利で快適なまち	3			目	1 環境保全総務費
		基本施策	適切な汚水処理の推進	4		予算事業	6	浄化槽設置補助金事業費
		施策分野	汚水処理	5				

事業概要	・下水道処理施設設置区域外において合併浄化槽を設置する者に対し、浄化槽設置補助金を交付して、適切な汚水処理を推進する。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・合併処理浄化槽設置補助金交付金として、5人槽「24人」、7人槽「18人」、10人槽「5人」で、合計18,193千円交付し、町内河川の浄化に寄与することが出来た。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・今後も合併処理浄化槽設置補助金の交付を推進し、町内河川の環境保全を図る。

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		合併処理浄化槽を設置するものから設置補助金申請を受付、設置後の完了検査により適正であることが確認された場合、補助金を交付する。 補助金額（一律）：5人槽=332千円、7人槽=414千円、10人槽=548千円（補助金の財源：国=1/3、県=国の40%、町=53.33%）	合併処理浄化槽を設置するものから設置補助金申請を受付、設置後の完了検査により適正であることが確認された場合、補助金を交付する。 補助金額（一律）：5人槽=332千円、7人槽=414千円、10人槽=548千円（補助金の財源：国=1/3、県=国の40%、町=53.33%）			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳	国・県支出金	8,503	8,852	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0
		一般財源	9,690	10,166	0	0
		事業費計	18,193	19,018	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

公共下水道事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	17	下水特会
		経済建設部 上下水道課		1	次年度作成主要事業仮選択	款	0	
新番号	10603	総計コード①	1-6	2		項	0	
旧実施計画 事業番	132	基本目標	便利で快適なまち	3		目	0	
		基本施策	適切な汚水処理の推進	4		予算事業	0	
		施策分野	汚水処理	5				

事業概要	・須走浄化センター長寿命化計画に基づき、処理施設の計画的な改修を行うことにより、安定した汚水処理及び、ライフサイクルコストの最小化を図る。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・須走浄化センター長寿命化計画では、年額3,000万円の事業費により事業を実施している。平成26年度事業については、詳細設計業務、整備工事の実施により計画どおり事業進捗が図れた。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・下水道施設の計画的な改築・更新に対する長寿命化整備工事の実施。

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		○長寿命化対策実施設計 H26 電気設備（計装設備） H27 電気設備（消毒設備） 機械設備（消毒・用 水・脱水） H28 電気設備（1-1/2曝気装 置）  ○長寿命化対策電気設備工事 電気計装設備 ・No.1返送汚泥流量計 1基 ・No.1返送汚泥濃度計 1基 ・No.1ディッチ溶存酸素 計 1基 ・余剰汚泥流量計 1基	○長寿命化に伴う電気設備工事 ・No.1-1曝気装置（電気）			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	11,400	15,000	0	0	0
	地方債	11,400	15,000	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	896	0	0	0	0
	事業費計	23,696	30,000	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

都市計画事業		担 当 部 課 経済建設部 都市整備課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	10701	総計コード①	1-7	1	都市計画マスタープラン策定事業（改訂）	款	7	土木費
旧実施計画 事業番	179	基本目標	便利で快適なまち	2	スマートIC設置・活用事業	項	4	計画調査費
		基本施策	活力ある土地利用の推進	3		目	2	都市計画費
		施策分野	土地利用	4		予算事業	2	都市計画費
				5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画や都市計画マスタープラン等との整合性を図り、現在の社会情勢等を踏まえた上で将来の都市像を明確に示すことにより定住人口の拡大、町の活性化に寄与する。</li> <li>・市街化調整区域内の開発済の土地の有効利用を図り、町の活性化に寄与する。</li> <li>・都市計画マスタープランに基づき、近年の社会情勢に併せた計画推進を図る。</li> <li>・スマートICを活用した土地利用を計画的に進める。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープランの5地区からなる地域まちづくり会議を地区別に13回開催し、意見聴取を行い土地利用の地域別構想を作成した。また、各種団体長からなるまちづくり町民会議を3回開催し、土地利用の町全体構想に対して意見聴取を行い作成した。</li> <li>・足柄スマートインターチェンジの連結許可にむけて、各関係機関からなる打合せ会を実施した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープランによる地域別構想及び全体構想の土地利用の推進を行う。</li> <li>・都市計画法第34条第2号による観光資源の有効な利用上必要な既存施設等の土地利用の推進を行う。</li> <li>・足柄スマートインターチェンジの連結許可により未来拠点事業による足柄SA周辺地区の土地利用推進を図る。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープラン町民説明会 2回開催</li> <li>・都市計画マスタープラン地域まちづくり会議 13回開催</li> <li>・都市計画マスタープラン町づくり町民会議 3回開催</li> <li>・都市計画マスタープラン改定事業 3,953千円</li> <li>・市街化調整地区基本方針策定事業 2,862千円</li> <li>・足柄SIC連結計画作成業務 1,923千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（都）大胡田用沢線都市計画決定の変更を都市計画審議会に諮る。</li> <li>・小山町優良田園住宅の促進に関する基本方針を都市計画審議会に諮る。</li> <li>・区域マスタープランを都市計画審議会に諮る。</li> <li>・都市計画法第34条第2号の観光資源の有効な利用上必要な運用基準を都市計画審議会に諮る。</li> <li>・都市計画基礎調査建物用途別現況調査業務委託 1,188千円</li> <li>・足柄スマートインターチェンジ連結許可申請</li> </ul>			
	財源内訳 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	200	200	0	0	0
	一般財源	11,146	3,594	0	0	0
	事業費計	11,346	3,794	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

公共道路整備事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		経済建設部 建設課		1	幹線道路網整備事業	予算科目	款	7	土木費
新番号	10801	総計コード①	1-8	2			項	2	道路橋梁費
旧実施計画 事業番	211	基本目標	便利で快適なまち	3			目	4	公共道路整備事業費
		基本施策	便利で快適な道路網・情報網の整備	4		予算事業	2	公共道路整備事業費	
		施策分野	道路網・情報網	5					

事業概要	・生活拠点となる小・中学校周辺の道路整備を計画的に推進するとともに、三来拠点事業に合せた「街づくり」の展開として主要路線の整備事業を推進する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・町道1063号線整備により、成美小学校・小山中学校の通学路の安全を確保した。 ・町道3975号線の用地買収は、計画どおり進んだ。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・主要路線の整備事業を計画的に推進し、生活用道路の利便性向上と通学路等の安全確保を図る。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)					
		主要町道の拡幅等整備事業を実施した。 ・町道1063号線外1改良舗装工事(藤曲) ・町道3975号線改良舗装工事(一色)に伴う用地買収	主要町道の拡幅等整備事業を実施する。 ・町道1063号線外1改良舗装工事(藤曲) ・町道2414号線外1測量設計業務委託(桑木) ・町道3975号線改良舗装工事(一色)							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	財源内訳	国・県支出金	29,672	219,926	0	0	0	0	0	0
		地方債	21,800	161,900	0	0	0	0	0	0
		その他特定財源	6,300	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	14,080	29,582	0	0	0	0	0	0
		事業費計	71,852	411,408	0	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

防衛施設道路整備事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		経済建設部 建設課		1 幹線道路網整備事業		予算科目	款	7 土木費
新番号	10802	総計コード①	1-8	2			項	2 道路橋梁費
旧実施計画 事業番	212	基本目標	便利で快適なまち	3			目	5 防衛施設道路整備事業費
		基本施策	便利で快適な道路網・情報網の整備	4		予算事業	2	防衛施設道路整備事業費
		施策分野	道路網・情報網	5				

事業概要	・国道246号と演習場を結ぶアクセス道路である町道3866号線舗装補修工事を推進し、通行車両及び歩行者の安全を確保する。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・国道246号と演習場を結ぶアクセス道路として、自衛隊車両の往来による舗装の劣化が著しい区間の通行車両や歩行者の安全が損なわれている現状を改善した。 ・H26年度は計画230mに対し、240mの舗装補修工事を実施したことにより、歩行者の安全が図られた。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・引き続き国道246号と演習場を結ぶアクセス道路として、残りL=1960mを整備し自衛隊車両の往来による舗装の劣化や車両の大型化により、一部狭隘部における歩行者の安全が損なわれている現状を改善していく。

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		町道の改良及び舗装工事を実施し改善に努めた。 [町道3866号線舗装補修工事の実施] ・L=240m程度の舗装補修工事を行った。(計画L=2200m) ※H26⇒H27 (繰越明許) 19,296千円	町道の改良及び舗装工事を実施し改善に努める。 [町道3866号線舗装補修工事の実施] ・L=420m程度の舗装補修工事を行う。 ※H27⇒H28 (繰越明許) 39,445千円			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	2,631	27,480	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	1,890	22,224	0	0	0
	事業費計	4,521	49,704	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

新東名関連町道整備事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		経済建設部 建設課		1	幹線道路網整備事業	予算科目	款	7	土木費
新番号	10803	総計コード①	1-8	2			項	2	道路橋梁費
旧実施計画 事業番	256	基本目標	便利で快適なまち	3			目	4	公共道路整備事業費
		基本施策	便利で快適な道路網・情報網の整備	4		予算事業	3	新東名関連町道整備事業費	
		施策分野	道路網・情報網	5					

事業概要	・新東名小山SICの設置に合わせたアクセス道路の整備により、周辺地区の土地開発の推進、地域産業・観光振興・救急活動の迅速化の支援を図り「内陸フロンティア構想」を推進する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・中日本高速道路㈱と連携を密にしながら事業調整し、事業を進めた結果、計画どおりL=87mの(仮)須川側道橋の工事委託を実施した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・引き続き中日本高速道路㈱との調整を進め町道3975号線及び小山PA周辺アクセス道路の完成を目指す。

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		社会資本整備総合交付金事業により事業を実施した。	社会資本整備総合交付金事業により事業を実施する。			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町道3975号L=2,820mの内L=87m(上部工)を中日本高速道路㈱へ工事委託した。</li> <li>・町道3984号線及び上り線下り線ランプの測量設計業務を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町道3975号線L=2,820mの内L=87m(上部工)を引き続き中日本高速道路㈱へ工事委託する。</li> <li>・町道3628号線外対象3路線の用地買収を完了する。</li> </ul>			
事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
		国・県支出金	127,101	203,471	0	0
		地方債	93,500	149,800	0	0
		その他特定財源	10,700	0	0	0
		一般財源	15,552	29,815	0	0
		事業費計	246,853	383,086	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

町道整備事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	10804	経済建設部 建設課		1	町道維持補修事業	予算科目	款	7	土木費
旧実施計画事業番	207	総計コード①	1-8	2			項	2	道路橋梁費
		基本目標	便利で快適なまち	3			目	3	町道整備事業費
		基本施策	便利で快適な道路網・情報網の整備	4		予算事業		2	町道整備事業費
		施策分野	道路網・情報網	5					

事業概要	・地域道路交通網を計画的に整備し、生活利便性の向上と交通事故の削減に繋がる町道整備事業を進める。
事業の成果 （課題・反省点を含む）	・狭隘町道について、緊急車両の通行が可能となる様に幅員を確保し、通行車両・歩行者の安全確保に寄与した。
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	・生活利便性の向上のため、町道を計画的に整備するとともに、交通事故の削減に繋がる整備を行う。 ・狭隘道路に関しては、各地区の要望に合わせ計画的な改修を実施していくものとする。

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		町道の整備工事を実施し改善に努めた。 ・町道2362号線改良舗装工事（桑木） 外7路線 ・町道3130号線用地測量業務委託（棚頭） 外3路線 【防衛9条事案】 ・町道2385号線外1舗装補修工事（桑木）	町道の整備工事を実施し改善に努める。 ・町道1478号線外1路線改良舗装工事（湯船） 外6路線 ・町道新柴線旧跨線橋撤去設計業務委託（新柴） 【防衛9条事案】 ・町道下小林1号線測量設計業務委託（一色）			
	事業費 （千円）	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	10,000	25,000	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	66,368	0	0	0	0
	一般財源	4,662	40,017	0	0	0
	事業費計	81,030	65,017	0	0	0



平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

道路構造物長寿命化事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		経済建設部 建設課		1	橋梁施設長寿命化事業	予算科目	款	7	土木費
新番号	10805	総計コード①	1-8	2			項	2	道路橋梁費
旧実施計画 事業番	210	基本目標	便利で快適なまち	3			目	4	公共道路整備事業費
		基本施策	便利で快適な道路網・情報網の整備	4		予算事業	4	道路構造物長寿命化事業費	
		施策分野	道路網・情報網	5					

事業概要	・道路構造物長寿命化修繕計画に基づき橋梁の長寿命化を推進すると共に、維持管理の軽減を図り、道路橋の健全度を確保する。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・橋梁の点検を実施し、安全性・老朽度合の把握を行った。 ・長寿命化修繕計画に基づき順次橋梁補修工事を実施し、橋梁長寿命化を推進した。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・高齢化橋梁を従来の事後保全的な維持管理型から計画的な予防保全型へ移行し、橋梁の長寿命化を推進すると共に維持管理の軽減を図り、道路橋の健全度を確保する。 ・引き続き、定期点検の実施していく。

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<b>【橋梁長寿命化】</b> 町が管理する橋梁54橋の長寿命化事業(全体50年サイクル)を実施した。 ・橋梁補修工事(3橋) 大胡田橋 日影橋 一色大胡田線無名橋 ・橋梁補修設計(7橋) あざみづか橋 古城橋 陣馬橋 原坂橋 向原橋 花戸橋 南ノ原橋  <b>【道路構造物点検等】</b> 町が管理する道路構造物の総点検を実施した。 ・東名跨道橋点検(4橋)	<b>【橋梁長寿命化】</b> 町が管理する橋梁54橋の長寿命化事業(全体50年サイクル)を実施する。 ・橋梁補修工事(2橋) 古城橋 花戸橋 ・橋梁補修設計(4橋) 尾崎橋 向田橋 堀城橋 新井丸橋  <b>【道路構造物点検等】</b> 町が管理する道路構造物の総点検を実施する。 ・橋梁点検(47橋) ・道路構造物総点検			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	26,905	65,230	0	0	0
	地方債	16,800	48,000	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	6,350	7,820	0	0	0
	事業費計	50,055	121,050	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

都市計画道路整備事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		経済建設部 都市整備課		1	都市計画道路見直し事業	予算科目	款	7	土木費
新番号	10806	総計コード①	1-8	2			項	4	計画調査費
旧実施計画 事業番	188	基本目標	便利で快適なまち	3			目	2	都市計画費
		基本施策	便利で快適な道路網・情報網の整備	4		予算事業	3	都市計画道路整備事業費	
		施策分野	道路網・情報網	5					

事業概要	・都市計画道路の整備事業を進めるとともに、再検証業務の結果を基に都市計画道路の一部区間の廃止を行なう。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・都市計画道路大胡田用沢線の整備に向けた都市計画決定の変更手続きに予定以上の期間を要しているが、変更原案の縦覧や説明会を実施し、住民等の理解を得た。また、静岡県公安委員会や国土交通省との意見調整により、都市計画決定変更の応諾を得た。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・大胡田用沢線の整備に向け、平成27年度内の都市計画決定変更及び都市計画事業の認可手続きを経て、平成28年度から用地買収及び物件補償等を進め、平成31年度までに工事を完了する。 ・説明会等により地域住民や土地所有者の理解を得て、事業を進捗する。 ・地域住民(町民)の生活拠点における主要な道路の整備や歩道設置等を推進して安全かつ円滑な通行を図るとともに、災害等の緊急時における避難地等の拠点への輸送、連絡ルートとしての機能を確立し快適で暮らせる町づくりに寄与する。

		平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)					
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		○大胡田用沢線の整備に向け、都市計画決定変更や都市計画事業認可の協議、手続き等を進めた。 ・都市計画変更図書作成業務(1,512千円) ・不動産鑑定評価(645千円)	大胡田用沢線の整備に向けた業務 ○都市計画決定変更手続きを完了 ○都市計画事業認可を取得 ○社会資本整備事業の交付申請 ○地区説明会、地権者説明会等の実施 ・物件調査(11,000千円) ・土質調査(1,000千円)								
	事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
		財源内訳	国・県支出金	0	113,000	0	0	0	0	0	0
			地方債	0	83,000	0	0	0	0	0	0
			その他特定財源	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	2,181	14,478	0	0	0	0	0	0	
	事業費計	2,181	210,478	0	0	0	0	0	0		

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

地域公共交通活性化事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		企画総務部 町長戦略課		1	J R御殿場線利用促進事業	予算科目	款	2 総務費
新番号	10901	総計コード①	1-9	2	地域公共交通連携計画の策定		項	7 企画渉外費
旧実施計画 事業番	290	基本目標	便利で快適なまち	3			目	1 企画渉外総務費
		基本施策	移動しやすい公共交通の充実	4		予算事業	3	地域公共交通活性化事業費
		施策分野	公共交通	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金太郎公共交通計画に基づき、「自主運行バスの運行」「生活確保維持路線に対する補助の実施」「J R御殿場線の利用促進」等を実施し、持続可能な地域公共交通ネットワークサービスの推進を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御殿場線の利便性の向上等に関する要望活動及び御殿場線まつりへの協力等を、沿線市町で構成する御殿場線活用推進協議会で実施した。御殿場線の利用者数は同水準にあるが、町内2駅の利用者は減少しており、より積極的に町内駅の利用促進事業を推進する必要がある。</li> <li>・小山町地域公共交通会議（法定会議）において、金太郎公共交通計画の策定、計画の実施・評価、毎年度の生活交通確保計画の策定等を実施した。</li> <li>・平成26年10月から自主運行バスの運行を開始した。合わせて小山地域における利用動向を調査するため、調査運行及びアンケート調査を実施した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き御殿場線活用推進協議会において利用推進及び利便性向上のための要望活動を実施する。</li> <li>・今後は町内公共交通に関するアンケート、路線バス、自主運行バス等の評価を踏まえ、町内及び広域的なネットワークの再検討及びまちづくりとの連携をさらに深めたい。</li> <li>・現在任意計画である金太郎公共交通計画を改正法の法定計画（地域公共交通網形成計画）に改め、計画に基づき事業を実施する。</li> <li>・自主運行バスと路線バスの再検証により、ネットワークや運行頻度を最適化し、利用活性化をはかる。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・金太郎公共交通計画（地域公共交通連携計画）策定</li> <li>・コミュニティバス運行、利用動向調査運行の開始</li> <li>・国庫補助、普通交付税措置の活用</li> <li>・パークアンドライド事業（松田町営駐車場賃借）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金太郎公共交通計画変更（地域交通網形成計画への移行）調査事業実施</li> <li>・コミュニティバス、実証実験運行、見直し</li> <li>・国庫補助、普通交付税措置の活用</li> <li>・パークアンドライド事業（松田町営駐車場賃借）</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額
	国・県支出金	0	864	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	1,160	1,440	0	0	0
	一般財源	24,917	36,459	0	0	0
	事業費計	26,077	38,763	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

建築指導事業		担 当 部 課 経済建設部 都市整備課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	11001	総計コード①	1-10	1	住宅耐震化事業	款	7	土木費
旧実施計画 事業番	127	基本目標	便利で快適なまち	2		項	5	住宅費
		基本施策	良好な住環境の実現	3		目	2	建築指導費
		施策分野	住環境	4		予算事業	2	建築指導費
				5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新耐震基準以前に施工された木造住宅の耐震診断・計画・補強工事に対して費用の一部を助成する。</li> <li>・住宅等建設時の接道及び斜線等、建築基準法に関する指導を行なうと共に、違法建築物を防止する。</li> <li>・町有施設の建築工事、改修工事に関する施工監理を行ない、工期内の施工完了、不正防止に努める。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断、耐震計画、補強工事等の実施した方への助成及び事業実施に向けた啓発活動を実施し、町内住宅の耐震化率向上に努めた。</li> <li>・土地所有者が住宅等建築がスムーズに行えるように関係機関と連絡調整を実施し、定住促進に努めた。</li> <li>・町有施設の新規工事、改修、解体工事等の監督員業務を実施し、高品質で使いやすい施設整備、早期完了に努めた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模地震時に建物倒壊のゼロを目指し、県とも共同し引き続き木造住宅の耐震化率を高める。</li> <li>・建築基準法に対する理解を深め、定住促進につながる建築指導を行なうとともに違法建築物防止に努める。</li> <li>・町有施設の新築工事及び改修工事等に際し、安全施工、工期の短縮及び高品質な施工を指導し、安価に建設工事が出来る方法を検討する。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOUKAI-0 耐震診断 40件 耐震計画 1件 耐震補強 1件</li> <li>・確認申請受付業務 建築物受付3件 長期優良住宅受付30件</li> <li>・町有施設建設等 新規工事 4件 改修工事等 6件 解体工事 4件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOUKAI-0 耐震診断 13件 (予定) 耐震計画 6件 (予定) 耐震補強 5件 (予定)</li> <li>・確認申請受付業務 沼津土木事務所建築住宅課 と各種協議</li> <li>・町有施設建設等 新規工事 0件 改修工事等 3件 解体工事 0件</li> </ul>			
	財源内訳 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	1,947	2,467	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	1,077	1,509	0	0	0
	事業費計	3,024	3,976	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

町営住宅維持管理事業		担 当 部 課 経済建設部 都市整備課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	11002	総計コード①	1-10	1	町営住宅統廃合事業	款	7	土木費
旧実施計画 事業番	121	基本目標	便利で快適なまち	2		項	5	住宅費
		基本施策	良好な住環境の実現	3		目	1	住宅管理費
		施策分野	住環境	4		予算事業	2	町営住宅維持管理費
				5				

事業概要	・ 小山町営住宅等長寿命化計画に基づき、町営住宅の管理、用途廃止及び建替えを実施する。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・ 小山町営住宅長寿命化計画に則り2団地21戸の解体工事を実施し、適正な管理戸数への推進を図った。 ・ 小山町営住宅長寿命化計画において大規模修繕が計画されているが、計画通りに進んでおらず大規模修繕が必要な住宅が多数ある。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・ 小山町営住宅等長寿命化計画に則り適正管理戸数に向け計画的に用途廃止を実施し、存続させていく住宅については大規模修繕等を実施し良好な公営住宅の提供に努める。

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)	
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>用途廃止(解体)</li> <li>1) 富士向団地4棟16戸 工事費：9,266,400円</li> <li>2) 緑ヶ丘団地2棟5戸 工事費：3,946,320円</li> <li>入退去事務 入居6戸、退去30戸</li> <li>住宅修繕 67件</li> <li>入居者へ督促状の送付 (延べ102人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用途廃止(解体)</li> <li>一色西裏団地 入居者と交渉中</li> <li>入退去事務 随時</li> <li>住宅修繕 60件</li> <li>入居者へ督促状、明渡請求書の送付</li> </ul>				
	事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
		国・県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他特定財源	56,570	55,000	0	0	0
一般財源		▲7,606	▲20,787	0	0	0	
事業費計	48,964	34,213	0	0	0		

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

都市公園維持管理事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		経済建設部 都市整備課		1	遊具等改築・更新事業	予算科目	款	7 土木費
新番号	11102	総計コード①	1-11	2			項	4 計画調査費
旧実施計画 事業番	185	基本目標	便利で快適なまち	3			目	3 公園等整備費
		基本施策	公園・緑地整備の推進	4		予算事業	3	都市公園維持管理費
		施策分野	公園・緑地	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園における遊具、休憩所、運動施設など多様な公園施設の経年劣化に対応した改築・更新を行う。</li> <li>・豊門会館及び西洋館の耐震工事や内外装の補修等を行うことにより地域活性化の拠点としての活用を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の遊具等の点検を行い、不良個所の修繕を実施した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具、休憩所、運動施設など多様な施設の経年劣化に対応した改築・更新を行う。</li> <li>・公園維持に要する修繕等の実施。</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の職員による草刈等の維持管理</li> <li>・公園のトイレ・照明等に係る光熱水費等の支払</li> <li>・公園維持に要する修繕等</li> <li>・浄化槽等の法的義務付けのある専門分野における業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の職員による草刈等の維持管理</li> <li>・公園のトイレ・照明等に係る光熱水費等の支払</li> <li>・公園維持に要する修繕等</li> <li>・浄化槽等の法的義務付けのある専門分野における業務委託</li> </ul>							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源	1,721	4,900	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	9,955	5,993	0	0	0	0	0	0	0
	事業費計	9,955	10,893	0	0	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

農村公園管理事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		経済建設部 農林課		1	遊具等改築・更新事業	予算科目	款	5 農林水産業費
新番号	11101	総計コード①	1-11	2			項	1 農業費
旧実施計画事業番	67	基本目標	便利で快適なまち	3			目	11 農村公園管理費
		基本施策	公園・緑地整備の推進	4		予算事業	2	農村公園管理費
		施策分野	公園・緑地	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩所、運動施設等多様な公園施設の経年劣化に対応した修繕・更新を行い、利便性を向上させる。</li> <li>・多目的広場等公園施設の活用方法について見直し、必要な整備を進めて利用の拡大を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園施設管理委託契約により、経費の縮減を図るとともに、消耗品購入や施設修繕を行い利便性の向上に寄与した。</li> <li>・平成26年度は、前年度と比較して農村公園利用者が1,612人、パークゴルフ利用者が250人と両方増えているが、貸農園については、広報活動を継続しているものの34区画から1区画減少して33区画に留まっている。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理体制も含めて新たな活用方法を検討し、利用者の更なる拡大を図る。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)					
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	農園利用区画数	33区画 (全55区中モデル農園・残査置場で6区画使用)	9月現在37区画 (全55区中モデル農園・残査置場で6区画使用)								
	パークゴルフ利用者数	1,645人	9月現在558人								
事業費 (千円)	財源内訳	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
		国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他特定財源	952	1,114	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	4,062	3,944	0	0	0	0	0	0	0
		事業費計	5,014	5,058	0	0	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

社会福祉総務事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		住民福祉部 住民福祉課		1	啓発広報活動事業	予算科目	款	3 民生費
新番号	20101	総計コード①	2-1	2	地域福祉ボランティア養成事業		項	1 社会福祉費
旧実施計画 事業番	81	基本目標	安心・安全なまち	3			目	1 社会福祉総務費
		基本施策	地域で支え合う福祉の推進	4		予算事業		2 社会福祉総務費
		施策分野	地域福祉	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町地域福祉計画の推進により、啓発広報活動や地域福祉ボランティア養成講座の事業を展開する。</li> <li>・社会奉仕の精神をもって常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めるものとする。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・44人の民生委員児童委員による活動が5,690日、相談が698件と活発な活動が行われた。また、社会福祉協議会との連携により、災害ボランティア講座の開催やふれあい茶論等のボランティア養成事業等を実施した結果、地域福祉に対する町民の満足度が59%に増加し、地域で支え合う福祉の推進を図ることができた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町地域福祉計画に基づき、町民ボランティア等の人材を育成し、地域社会での連携を推進し、地域福祉の基盤づくりを進める。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		・地域生活支援業務委託料 (民生委員児童委員協議会に委託) (調査内容)：母子父子家庭や、高齢者福祉行政等の各調査、高齢者等のふれあい茶論支援、見守り・情報収集	・地域生活支援業務委託料 (民生委員児童委員協議会に委託) (調査内容)：母子父子家庭や、高齢者福祉行政等の各調査、高齢者等のふれあい茶論支援、見守り・情報収集			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	512	512	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	10	0	0	0
	一般財源	2,987	3,660	0	0	0
	事業費計	3,499	4,182	0	0	0



平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

生活習慣病予防事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		住民福祉部 健康増進課		1	生活習慣病予防事業	款	4	衛生費
新番号	20201	総計コード①	2-2	2		項	1	保健衛生費
旧実施計画事業番	265	基本目標	安心・安全なまち	3		目	3	健康づくり推進費
		基本施策	町民主体の健康づくりと地域医療の推進	4		予算事業		
		施策分野	健康づくり・地域医療・国保運営	5		3 生活習慣病予防費		

事業概要	・町民が健康でいきいきと生きることができるよう、各種がん検診等の実施体制を充実すると共に受診勧奨を積極的に行う。また、生活習慣病を自発的に予防するための生活改善指導や啓発を行う。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・平成26年度の主要5大がん検診の受診者数、受診率は前年度より微増しているが、目標受診率の50%には及ばなかったため、さらに検診等の実施体制の充実や、より効果的な啓発を行う必要がある。 ・おやま健康フェスタ等の健康イベントや各種団体・組織単位での出張けんこう講座で、より意識を高め、検診の受診行動につながるような啓発活動をしていく必要がある。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・受診率増加を図るため、各種団体、組織への積極的な呼びかけや啓発をおこなう。 ・子宮がん検診は、受診者の利便性の向上のため、平成27年度から誕生日検診に移行し、受診率の向上を図る。また乳がん検診についても平成28年度から誕生日検診で実施できるよう医師会と連携しながら準備を進めていく。

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		・がん検診の実施、検診の案内、重要性の啓発、個別検診・集団検診の実施。 平均受診率：34.2% 通信運搬費4,252千円 委託料35,641千円 検診受診者数： 胃がん 1,430人(26.6%) 肺がん 2,107人(36.9%) 大腸がん 2,273人(44.9%) 子宮がん 1,521人(40.0%) 乳がん 810人(22.7%)	・がん検診の実施、検診の案内、重要性の啓発、個別検診・集団検診の実施。 目標平均受診率：50% 通信運搬費4,700千円 委託料39,865千円 子宮がん検診の誕生日検診化			
	事業費 (千円)					
		決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	21,865	21,893	0	0	0
	一般財源	24,538	22,818	0	0	0
	事業費計	46,403	44,711	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

健康増進事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計		
		住民福祉部 健康増進課				予算科目	款	4	衛生費	
新番号	20202	総計コード①	2-2		1		健康づくり事業	項	1	保健衛生費
旧実施計画事業番	197	基本目標	安心・安全なまち		2		たばこ対策事業	目	3	健康づくり推進費
		基本施策	町民主体の健康づくりと地域医療の推進		3		予算事業			
		施策分野	健康づくり・地域医療・国保運営		4		2			
					5		健康増進事業費			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種健康づくり教室、メンタルヘルスケア、食育、歯科保健事業等の健康づくりを積極的に推進する。</li> <li>・若年者の喫煙防止の啓発及び教育と、喫煙をする人への禁煙支援を積極的に推進すると共に、受動喫煙を防止するため禁煙、分煙の環境整備を推進する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッツ5食育では子どもと共に、保護者へ健康的な食生活を啓発し、婦人会健康づくり食生活推進部と共に健康づくりイベント等での啓発を計っているが、成人、高齢者等に向けた食生活、栄養の情報提供の充実が必要である。</li> <li>・若年者の喫煙防止の啓発として、成人式でのリーフレット配布、がん検診での禁煙啓発や禁煙希望者の保健指導を行っている。直接禁煙に結びつけることは難しく、小中学生高校生等成人前の喫煙防止教育が重要である。</li> <li>・メンタルヘルスケアでは、保健師の一次的な相談や臨床心理士によるココロの健康相談の利用が増えているため、相談体制の充実が必要である。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育事業を幼児期のみで終わらせるのではなく、家庭や学童期に繋げていける様関係部署間の連携体制を検討する。</li> <li>・引続き小山高校での喫煙防止教育を実施していく。町内の小学校へ出向き、保健所と連携した喫煙防止教育を行う。</li> <li>・平成27年度に町内事業所(施設)での分煙、喫煙防止対策に関するアンケート調査を実施し、対策の見直しや啓発の充実を図る。</li> <li>・お達者度向上を目指し、運動習慣の推進を図るため、体力測定や測定結果に基づいた個別運動支援を展開する。</li> </ul>

		平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		(1)健康教育、啓発事業437千円 ①自主グループの運動講師派遣(32回)②メンタル相談(11回)、ココロの健康相談(2回)、心の健康啓発(2回)③小学1年生への巡回歯科教室(5回)、集団歯科指導(1回) (2)食育推進事業1,099千円 はじめてのクッキング(6回)、レッツ5食育(25回)、婦人会食推部講習(11回)、母子栄養指導(52回)、集団栄養指導(1回)、個別栄養相談(52回)	(1)健康教育、啓発事業367千円 ①自主グループへの運動講師派遣②高校生1年生の喫煙防止教育、結核肺がん検診時の禁煙啓発、分煙事業所アンケート調査③メンタルヘルス相談、ココロの健康相談、心の健康啓発④小学1年生への巡回歯科教室、集団歯科指導、8020推進 (2)食育推進事業746千円 はじめてのクッキング、レッツ5食育、婦人会食推部講習、母子栄養指導、集団栄養指導、健診事後栄養相談			
	財源内訳 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	1,064	1,150	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	2,968	3,192	0	0	0
	事業費計	4,032	4,342	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

健康マイレージ事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	20203	住民福祉部 健康増進課		1	健康づくり事業	予算科目	款	4	衛生費
旧実施計画事業番	325	総計コード①	2-2	2			項	1	保健衛生費
		基本目標	安心・安全なまち	3			目	3	健康づくり推進費
		基本施策	町民主体の健康づくりと地域医療の推進	4		予算事業		4	健康マイレージ事業費
		施策分野	健康づくり・地域医療・国保運営	5					

事業概要	町民の健康への意識を高め、健康づくりや社会参加を促し、健康寿命の延伸を図る。 18歳以上の町民と町内在勤者を対象に、健康事業、ボランティア活動等の催しに参加または、自己申告により健康マイレージポイントカードに30ポイントを貯めると賞品獲得や特典が得られる。
事業の成果 （課題・反省点を含む）	抽選会ごと（年3回実施）に30ポイント達成者の人数は増加し、賞品の提供により町の健康づくり事業へ協力する事業所も8事業所に達し、おやま健康マイレージ事業の成果は上がっており、町民の健康づくりに寄与していると考えます。 健康に関心がある人の参加が多いことから、今後は、健康に関して無関心層に取り組んでもらうことが課題となる。
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	・多くの町民が参加したいと思えるために魅力のある賞品の提供を小山町商工会を通じて依頼する。 ・おやま健康マイレージ事業の推進を保健委員の活動のひとつとして位置づけ、地区行事・老人会行事等に積極的に出向き、スタンプ押印、事業のPRなどを行う。さらに、地域の活動とリンクした様々な対象事業を増やすための連携体制の推進を図る。 ・おやま健康マイレージ事業の更なる周知をはかるため、広報おやまや無線放送、新聞、ケーブルテレビ等を活用した広報活動を行う。

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）	事業実績	事業実績 ・ポイント達成者数 （延200人・実数151人） ・ハッピーチケット交換賞品3種類 ・スマイル賞協賛事業所数（8カ所） ・ふじのくに健康いきいきカード協力店（3カ所） ・のぼり旗・金太郎スタンプ作成 ・チャレンジシート・ハッピーチケット印刷 ・賞品負担（足柄温泉等）	事業目標 ・ポイント達成者数 （延400人・実数200人） ・ハッピーチケット交換賞品5種類 ・スマイル賞協賛事業所数（9カ所） ・ふじのくに健康いきいきカード協力店（5カ所） ・金太郎スタンプ作成 ・チャレンジシート印刷 ・賞品負担			
	（千円）	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
事業費 財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	444	650	0	0	0
	事業費計	444	650	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

老人福祉対策事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		住民福祉部 住民福祉課		1	シルバー人材センター運営事業費補助事	予算科目	款	3 民生費
新番号	20301	総計コード①	2-3	2	老人クラブ連合会補助事業		項	2 老人福祉費
旧実施計画事業番	1	基本目標	安心・安全なまち	3			目	1 老人福祉総務費
		基本施策	高齢者福祉の推進	4		予算事業	2	老人福祉対策費
		施策分野	高齢者福祉	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種サービス事業や生活援助事業を推進し高齢者の元気と生きがいの創出に寄与するとともに、シルバー人材センターや老人クラブ連合会を支援、連携することで、高齢者の社会参加機会の充実を図る。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>シルバー人材センター及び老人クラブへの支援をすることによって充実した活動が行われた結果、高齢者の生きがい活動、就労支援として高齢者福祉に対する満足度が向上する等、一定の成果があった。</li> <li>シルバー人材センターの会員数は微増しているが目標には遠く、老人クラブの会員数とともに、会員の増加が課題となっている。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>シルバー人材センターによる高齢者の就労支援及び生きがいづくり等を引き続き支援するため、支援を継続する。</li> <li>老人クラブ連合会との連携による高齢者の更なる社会参加機会の充実を図るため、支援を継続する。</li> <li>補助金による支援のほか、介護予防事業（2-4）による事業支援等、両団体の活動を支援することで高齢者福祉の推進を図る。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>シルバー人材センター助成</li> <li>老人クラブ連合会補助</li> <li>介護保険法に基づき高齢者福祉計画及び介護保険計画の見直しを実施。</li> <li>養護老人ホーム建設事業交付金（H23～H42）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シルバー人材センター助成</li> <li>老人クラブ連合会補助</li> <li>養護老人ホーム建設事業交付金（H23～H42）</li> </ul>			
	事業費 （千円）	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	3,538	3,538	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	196	196	0	0	0
	一般財源	31,467	29,921	0	0	0
	事業費計	35,201	33,655	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

地域支援事業		担 当 部 課 住民福祉部 住民福祉課		記 入 者	該当する主要事業		会計区分	18	介護特会
新番号	20401	総計コード①	2-4		1	運動能力向上事業	予算科目	款	0
旧実施計画事業番	100	基本目標	安心・安全なまち		2	口腔機能向上事業		項	0
		基本施策	介護保険の充実		3	介護ボランティア養成事業		目	0
		施策分野	介護保険		4		予算事業		
					5			0	

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民個人や地域が抱える問題を拾い出し、生活支援コーディネーターを中心に地域住民や各種団体、ボランティア等と協同で問題解決を図る。</li> <li>・ふれあい茶論等の高齢者の生きがいと健康づくり推進事業及び予防教室や相談会等の介護予防普及啓発事業を実施する。</li> <li>・認知症地域支援推進員を置き、認知症サポーターの養成や認知症予防教室等を実施する。</li> <li>・お通者測定会や公民館単位での運動教室を開催し、お通者度向上を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護予防を目的に、運動機能向上事業(転ばぬ先の杖教室等)、口腔機能向上事業(にこにこ元気健口教室)等を実施したが、小山町第5期介護保険事業計画で推定した要介護認定率を、1.2%上回ってしまった。</li> <li>・地域ぐるみで介護予防を実施していく体制を構築するため、介護予防事業ボランティアを53名養成した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<p>介護保険法の改正により、平成29年度から要支援者の予防給付を取り込んだ一体的な介護予防事業及び充実・強化された包括的支援事業が地域支援事業となる。介護予防については、これまでの二次予防・一次予防等の枠組みが無くなり、多様化されたサービスが実施されることとなる。現在は専門職による機能回復型予防事業に重点を置いているが、今後は地域住民のニーズを取り込んだ住民参加型事業を幅広く展開して、介護認定率の上昇を抑制していく。そのために、平成28年度から、介護予防・生活支援サービスの体制整備事業として、協議体及び生活支援コーディネーターを設置する。また、認知症施策の推進の為に、認知症地域支援推進員を設置する。</p>

		平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<p>【二次予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動機能向上、口腔機能向上、認知機能低下予防教室、栄養改善教室</li> </ul> <p>【一次予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい茶論、介護予防事業ボランティア育成・認知症サポーター養成講座</li> </ul>	<p>【二次予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動機能向上、口腔機能向上、認知機能低下予防教室、栄養改善教室</li> </ul> <p>【一次予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい茶論、介護予防事業ボランティア育成・認知症サポーター養成講座</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額
	国・県支出金	14,894	16,304	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	8,213	9,513	0	0	0
	一般財源	4,965	5,435	0	0	0
	事業費計	28,072	31,252	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

障害福祉総務事業		担 当 部 課 住民福祉部 住民福祉課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	20501	総計コード①	2-5	1	小山町障害者計画及び小山町障害福祉計	予算科目	款	3	民生費
旧実施計画 事業番	53	基本目標	安心・安全なまち	2			項	1	社会福祉費
		基本施策	障がい者福祉の充実	3			目	2	障害者福祉費
		施策分野	障がい者(児)福祉	4		予算事業			
				5				2	障害福祉総務費

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある人を総合的に支援するため、障害者計画と障害福祉計画を一体的に策定する。</li> <li>相談体制の充実を図るため、障害者相談員を配置する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4期小山町障害福祉計画を策定した。</li> <li>4名の障害者相談員に相談業務を委託した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次小山町障害者計画と第5期小山町障害福祉計画を策定する。</li> <li>障害者相談員の人数を増やし、相談体制を充実させる。</li> <li>今後も継続して駿豆学園管理組合との連携を図っていく。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者計画の策定</li> <li>駿豆学園管理組合に対して負担金の支払い</li> <li>委託事業により、知的、身体、精神の障害者相談員を配置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駿豆学園管理組合に対して負担金の支払い</li> <li>委託事業により、知的、身体、精神の障害者相談員を配置する。</li> </ul>			
	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
(千円)	国・県支出金	84	84	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	3,366	3,111	0	0	0
	事業費計	3,450	3,195	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

地域生活支援事業		担 当 部 課 住民福祉部 住民福祉課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	20502	総計コード①	2-5	1	地域自立支援協議会支援事業	予算科目	款	3	民生費
旧実施計画 事業番	112	基本目標	安心・安全なまち	2	相談事業		項	1	社会福祉費
		基本施策	障がい者福祉の充実	3	授産製品販路拡大及び雇用促進事業		目	2	障害者福祉費
		施策分野	障がい者（児）福祉	4		予算事業		7	地域生活支援事業費
				5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の相談支援体制を充実するため、御殿場小山自立支援協議会の体制及び活動の充実を図る。</li> <li>・障がいを持っている方からの相談などに対応するための取り組みを強化する。</li> <li>・町内の企業等を訪問し、授産所のPRや、障がい者雇用の協力依頼を行う。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省 点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御殿場小山自立支援協議会において、各種課題の検討を行った。</li> <li>・県の圏域自立支援協議会へ参加した。</li> <li>・小山町における障害者就労施設等からの物品等の調達方針を策定した。</li> <li>・知的・身体・精神の事業所へ地域活動支援センター事業を委託した。</li> <li>・知的・身体・精神の事業所へ相談支援事業を委託した。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を 踏まえた今後の 展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御殿場小山自立支援協議会の部会を充実させる。</li> <li>・御殿場小山自立支援協議会で、就労施設の製品案内のパンフレットを作成する。</li> <li>・知的・身体・精神の事業所へ地域活動支援センター事業を委託する。</li> <li>・知的・身体・精神の事業所へ相談支援事業を委託する。</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）	平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センター事業の委託</li> <li>・障害者相談支援事業の委託</li> <li>・物品調達方針の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センター事業の委託</li> <li>・障害者相談支援事業の委託</li> <li>・物品調達方針の策定</li> </ul>							
事業費 （千円）	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	国・県支出金	10,969	20,648	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	16,893	10,731	0	0	0	0	0	0	0
	事業費計	27,862	31,379	0	0	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

子ども子育て支援事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	20601	教育部 こども育成課		1	ファミリーサポートセンター事業	予算科目	款	3 民生費
旧実施計画事業番号	268	総計コード①	2-6	2			項	3 児童福祉費
		基本目標	安心・安全なまち	3			目	4 子育て支援事業費
		基本施策	子育て支援の充実	4		予算事業	2	子ども子育て支援事業費
		施策分野	子育て支援	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度に策定した「小山町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援事業を行う。</li> <li>定期的に「子ども・子育て会議」を開催し計画実施の検証を行う。</li> <li>ファミリーサポートセンター事業を引き続き実施する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	平成26年度に「小山町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、新たな子ども子育て支援制度に対応した。御殿場市と共同で、ファミリーサポート養成講座を2回開催し、受託会員増に努めた。また、平成27年度から利用料の軽減を図り平日1時間1コイン(500円)と料金の改正を行った。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	御殿場市と協力し、子育て会員養成講座の開催、受託会員数の増加を図っていく

		平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども子育て支援計画の策定委託</li> <li>子ども子育て会議</li> <li>ファミリーサポートセンター事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども子育て会議</li> <li>ファミリーサポートセンター事業</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	50	0	0	0
	一般財源	2,085	861	0	0	0
	事業費計	2,085	911	0	0	0



平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

子育て支援センター運営事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	20602	教育部 こども育成課		1	子育て支援拠点センター拡充事業	予算科目	款	3 民生費
旧実施計画事業番	317	総計コード①	2-6	2			項	3 児童福祉費
		基本目標	安心・安全なまち	3			目	4 子育て支援事業費
		基本施策	子育て支援の充実	4		予算事業	4	子育て支援センター運営費
		施策分野	子育て支援	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内保育園・こども園で運営している地域子育て支援センター（ぺんぎんランド）利用者及び未就学児の支援を行う。</li> <li>・子育て支援を目的とした子育て支援拠点センターの単独設置、土曜・休日保育の実施を検討する。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センターによりぺんぎんランドを各保育園・こども園・総合文化会館で開催し多くの親子が利用した。平成26年度は延べ2,945人が利用した。</li> <li>・特に、総合文化会館でのぺんぎんランド利用者が多かった。</li> <li>・子育て通信の発行（年12回）を発行し、子育て支援に努めた。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援を目的とした子育て支援拠点センターの単独設置や、土曜・休日の開催の実施を検討する。</li> <li>・平成28年度から民間こども園（菜の花こども園）の開設により、土日の保育の実施が可能になる。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援拠点臨時職員賃金</li> <li>・ぺんぎんランド講師謝礼</li> <li>・子育て通信の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援拠点臨時職員賃金</li> <li>・ぺんぎんランド講師謝礼</li> <li>・子育て通信の発行</li> </ul>			
	事業費 （千円）	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	0	8,500	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	8,478	418	0	0	0
	事業費計	8,478	8,918	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

保育園耐震化事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		教育部 こども育成課		1 保育園舎整備事業		予算科目	款	3 民生費
新番号	20603	総計コード①	2-6	2			項	3 児童福祉費
旧実施計画事業番	274	基本目標	安心・安全なまち	3			目	3 保育園費
		基本施策	子育て支援の充実	4		予算事業	5	保育園耐震化事業費
		施策分野	子育て支援	5				

事業概要	・園舎の耐震化を実施するほか、幼児施設の環境整備を行う。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・すばしり保育園の耐震化について、関係機関等打合せを実施
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・関係機関等と調整を行い、早期建設を目指す。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)					
		きたごう保育園解体工事	すばしり保育園耐震化事業							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	8,219	72	0	0	0	0	0	0
		事業費計	8,219	72	0	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

児童福祉対策事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		教育部 こども育成課		1	DV・虐待相談体制事業	款	3	民生費
新番号	20605	総計コード①	2-6	2		項	3	児童福祉費
旧実施計画事業番	263	基本目標	安心・安全なまち	3		目	1	児童福祉総務費
		基本施策	子育て支援の充実	4		予算事業	2	児童福祉対策費
		施策分野	子育て支援	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話・窓口など相談体制の強化・充実を図る。</li> <li>要保護児童対策地域協議会のもと、その対応に努める。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>要保護児童対策地域協議会のもと、ケース会議等を開き、保護の必要な児童の把握及びその対応に努めた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりに係る時間、件数が多くなり、担当者の増員など体制を強化していく必要がある。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>小山町母子寡婦福祉会に助成金交付</li> <li>児童扶養手当事務</li> <li>要保護児童対策地域連絡協議会委員報酬</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小山町母子寡婦福祉会に助成金交付</li> <li>児童扶養手当事務</li> <li>要保護児童対策地域連絡協議会委員報酬</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	123	140	0	0	0
	事業費計	123	140	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

水防事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		住民福祉部 防災課		1	大規模災害対策支援事業	予算科目	款	8 消防費
新番号	20706	総計コード①	2-7	2			項	1 消防費
旧実施計画事業番	227	基本目標	安心・安全なまち	3			目	4 水防費
		基本施策	災害に強いまちづくり	4		予算事業	2	水防費
		施策分野	災害対策・危機管理	5				

事業概要	河川の洪水等による水害を警戒・防御し、これによる被害の軽減及び町民の生命・財産を保護するため、地域防災計画及び水防計画に基づき、水防協議会の運営、水防計画の見直し及び水防訓練を実施して、防災力の強化を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度に水防計画を修正した後重要事項に関わる修正はなく、地域防災計画の中で風水害対策等に規定しているため水防協議会は開催していない。</li> <li>6月の「土砂災害に対する防災訓練」に併せて、消防団、自主防災会等を含めた水防訓練を実施したが、実施要領をさらに創意し、参加率の向上が必要。</li> <li>雨量計の運用により、警報発令時等に雨量観測を実施し、水害等に関する情報を継続的に収集した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて水防協議会を開催し、的確な水防計画となるよう見直しを実施する。</li> <li>水防訓練の実施にあたっては、自主防災会の参加率を向上させ、地域防災力の強化に努める。</li> <li>引き続き、雨量計の適切な運用に努める。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>6月の「土砂災害に対する防災訓練」に併せて、消防団、自主防災会等を含めた水防訓練を実施した。</li> <li>雨量計の適切な運用を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて水防協議会を開催し、常に小山町水防計画が的確なものとなるよう見直しを行う。</li> <li>6月の「土砂災害に対する防災訓練」に併せて、消防団、自主防災会等を含めた水防訓練を実施した。</li> <li>雨量計の適切な運用を実施する。</li> </ul>			
	事業費 (千円)					
	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	34	50	0	0	0
	事業費計	34	50	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

地震対策事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		住民福祉部 防災課		1	大規模災害対策支援事業	款	8	消防費
新番号	20707	総計コード①	2-7	2		項	1	消防費
旧実施計画 事業番	228	基本目標	安心・安全なまち	3		目	5	災害対策費
		基本施策	災害に強いまちづくり	4		予算事業		
		施策分野	災害対策・危機管理	5		2 地震対策費		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会議を開催し、静岡県が制定した第4次地震被害想定に対応した地域防災計画の見直しや、町民の生命・財産を保護するための防災訓練や家庭内防災対策事業の実施、防災用品の購入等により災害に強い町づくりを推進する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会議を開催し、地域防災計画の見直し及び富士山噴火避難計画を制定した。</li> <li>・自主防災組織、消防署、消防団、警察、自衛隊の参加を得て防災訓練を実施し、各組織間の連携が図れた。</li> <li>・緊急地震・津波対策交付金とは、平成25年度から27年度にわたり計画的に、また、前倒して実施する事業に対して、町が設置した基金に3年分の必要な経費が県から交付されたもので、これを有効に活用し、災害対策本部で使用する映像装置のほか、防災備品・備蓄品の購入等を実施した。</li> <li>・防災士養成講座を開催し、防災士資格取得試験に高校生・女性を含め31人(町外居住者を含む)が合格した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会議を開催し、地域防災計画を見直すとともに、小山町の特性に応じた防災訓練を実施する。</li> <li>・平成28年度以降の地震対策にかかる県からの交付要綱は未制定であるが、引き続き防災備品や備蓄品及び家庭内防災対策事業に取り組んでいく。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会議を開催し、地域防災計画の見直し</li> <li>・防災資機材、備蓄食糧の購入</li> <li>・避難所用消耗品の購入</li> <li>・家庭内家具転倒防止事業の実施</li> <li>・災害対策本部で使用する映像装置の整備</li> <li>・災害対策用備品の購入</li> <li>※県から交付された緊急地震・津波対策交付金を積み立てた基金等を活用して事業を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会議を開催し、地域防災計画の見直し</li> <li>・防災資機材、備蓄食糧の購入</li> <li>・避難所用消耗品の購入</li> <li>・家庭内家具転倒防止事業の実施</li> <li>・防災士養成講座の実施</li> <li>・災害対策用備品の購入</li> <li>※県から交付された緊急地震・津波対策交付金を積み立てた基金等を活用し、基金の残金は県へ返還する。</li> </ul> <p>基金積立額：80,000千円 事業充当額：46,213千円 県へ返還額：33,787千円 (H27計上) (金額は当初予算ベース)</p>			
	事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	5,729	39,727	0	0	0
	一般財源	9,326	13,351	0	0	0
	事業費計	15,055	53,078	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

自主防災対策推進事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		住民福祉部 防災課		1	大規模災害対策支援事業	予算科目	款	8	消防費
新番号	20708	総計コード①	2-7	2			項	1	消防費
旧実施計画 事業番	230	基本目標	安心・安全なまち	3			目	5	災害対策費
		基本施策	災害に強いまちづくり	4		予算事業		3	自主防災推進事業費
		施策分野	災害対策・危機管理	5					

事業概要	・地域防災計画に基づき、地域の防災力向上を図るための自主防災組織の意義を強調し、地域の実情に応じた組織を育成するとともに防災資機材等の整備について助成を行う。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	平成26年度からは、自主防災会に対して交付している防災資機材の購入等に対する補助金の補助率を嵩上げ(補助率：2/3→3/4、限度額：10万円→20万円)して交付したため、同補助金の決算額が倍増し、防災資機材等の充実を図ることができた。 また、全ての自主防災会に対して、防災用品としてカセットボンベ式発電機と救助用パールを貸与し、地域防災力の向上を図った。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	平成28年度以降も引き続き、自主防災組織に対する補助金の補助率を嵩上げて交付し、「共助」を行う上で必要となる防災資機材等のさらなる充実を図っていく。 また、自主防災組織に対し、組織毎の「地区防災計画」や、「避難行動要支援者に対する避難支援計画」の策定を支援する。 さらに、地域の防災力向上を図るため、防災について十分な意識と一定の知識・技能を身につけた防災士を育成する。

		平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	○防災講演会の実施		○防災講演会の実施			
	○全ての自主防災会へ機材を貸与 ・カセットボンベ式発電機 ・救助用パール		○自主防災会へ防災資機材等購入に対する補助金交付(補助率嵩上げ) ○自主防災リーダー研修会の実施			
	○自主防災会へ防災資機材等購入に対する補助金交付(補助率嵩上げ)					
	○自主防災リーダー研修会の実施					
事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	2,670	1,216	0	0	0
	一般財源	5,028	2,443	0	0	0
事業費計	7,698	3,659	0	0	0	

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

治山事業総務事業		担 当 部 課 経済建設部 農林課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	20703	総計コード①	2-7	1	治山治水事業	予算科目	款	5 農林水産業費
旧実施計画 事業番	172	基本目標	安心・安全なまち	2			項	2 林業費
		基本施策	災害に強いまちづくり	3			目	3 治山事業費
		施策分野	災害対策・危機管理	4		予算事業	2	治山事業総務費
				5				

事業概要	・森林と清流の保全を踏まえた計画的な治山治水整備を行う。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・山地災害防止に向けた普及啓発を行うとともに、治山林道工事の円滑な事業執行に必要な技術供与を実施した。 ・森林・林業の現状や役割、取組などの情報を発信し、林業の活性化を図った。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・森林の多面的機能の持続的発揮と林業・木材産業の再生。 ・森林の保全並びに山村及び林業の施策を推進し山村振興を図る。

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		・林業組合負担金 ・山地強靱化対策会議の実施（町内5地区に分けて地域部会・行政部会の実施） 山地強靱化対策協議会原材料支給費1,000千円	・山地強靱化対策会議の実施（町内5地区に分けて地域部会・行政部会の実施） 山地強靱化対策協議会原材料支給費1,000千円			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0
		一般財源	3,475	4,214	0	0
		事業費計	3,475	4,214	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

県単独治山事業		担 当 部 課 経済建設部 農林課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	20704	総計コード①	2-7	1	治山治水事業	予算科目	款	5 農林水産業費
旧実施計画 事業番	173	基本目標	安心・安全なまち	2			項	2 林業費
		基本施策	災害に強いまちづくり	3			目	3 治山事業費
		施策分野	災害対策・危機管理	4		予算事業		
				5			3	県単独治山事業費

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林と清流の保全を踏まえた計画的な治山治水整備を行う。</li> <li>・国、県、地域と連携し森林の公益的機能増進を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒廃した溪流に水路等を設置し、溪流荒廃の防止及び円滑な排水経路を確保することができ、山地災害予防に寄与した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も荒廃溪流・山腹等の保護に努め、より危険度の高い箇所や国や県施行事業箇所と連携した事業推進を図って行く。</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中島(高石)において水路工237mを施工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳島(平田沢)において山腹工を施工予定(現在県補助の採択順位の関係から予算配分未定となったため留保中)</li> </ul>							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	財源内訳	国・県支出金	8,100	7,776	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	5,793	6,184	0	0	0	0	0	0
		事業費計	13,893	13,960	0	0	0	0	0	0



平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

町単独治山事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		経済建設部 農林課		1	治山治水事業	予算科目	款	5 農林水産業費
新番号	20705	総計コード①	2-7	2			項	2 林業費
旧実施計画事業番	174	基本目標	安心・安全なまち	3			目	3 治山事業費
		基本施策	・災害に強いまちづくり	4		予算事業	4	町単独治山事業費
		施策分野	災害対策・危機管理	5				

事業概要	・国や県の治山事業規模に該当しない小規模な治山施設について、地域の要望や被災状況等を勘案し実施する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・国や県の治山事業で実施できない流末の接続箇所や小規模な施設について施工を行い、既存施設の機能改善等にも効果を得ている。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・国や県の治山事業規模に該当しない小規模な治山施設について、地域の要望や被災状況等を勘案し実施して行く。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>下谷地区の既存治山施設の流末において荒廃が顕著であったため、水路を設置し導水を図った。</li> <li>桑木(広町)の既存水路上に崩落した岩石及び樹木について除去を行い、排水路を確保した。</li> <li>ホタルの里づくりに係る緊急雇用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山腹崩壊危険地や浸食により荒廃の兆しのある溪流などの山地において、災害を未然に防止するために谷止め等の施設を建設する。</li> <li>平成27年度は事業費1,000千円で実施する。</li> </ul>							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	国・県支出金	17,759	0	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,365	1,500	0	0	0	0	0	0	0
	事業費計	19,124	1,500	0	0	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

普通河川維持管理事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		経済建設部 建設課		1	治山治水事業	予算科目	款	7	土木費
新番号	20701	総計コード①	2-7	2			項	3	河川費
旧実施計画事業番	214	基本目標	安心・安全なまち	3			目	1	河川費
		基本施策	災害に強いまちづくり	4		予算事業	2	普通河川維持管理事業費	
		施策分野	災害対策・危機管理	5					

事業概要	・町管理である普通河川における清流の保全を図るため、計画的な維持管理事業を実施する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・町管理である普通河川において、河川改修・河川維持工事の実施により適正な管理を行い、河川災害防止対策及び長寿命化対策をした。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・町管理である普通河川の改修・維持管理により河川施設の長寿命化を図る。

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		河川施設の維持管理として改修工事及び維持工事を適切に実施し、災害防止対策と施設の長寿命化を図った。 ・井戸沢川測量設計業務委託（竹之下） ・井戸沢川河川改修工事（竹之下） ・流田川河川維持工事（大胡田） ・大沢川河川維持工事（小山） ・頓沢川河川維持工事（生土） ・菖蒲沢川河川維持工事（用沢） ・ソマン沢川河川維持工事（菅沼） ・海苔川河川維持工事（一色）	河川施設の維持管理として改修工事及び維持工事を適切に実施し、災害防止対策と施設の長寿命化を図る。 ・堀城川河川維持工事（菅沼）			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	13,289	2,161	0	0	0
	事業費計	13,289	2,161	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

急傾斜地崩壊防止事業		担 当 部 課 経済建設部 建設課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	20702	総計コード①	2-7	1	治山治水事業	予算科目	款	7	土木費
旧実施計画 事業番	213	基本目標	安心・安全なまち	2			項	2	道路橋梁費
		基本施策	災害に強いまちづくり	3			目	6	急傾斜地崩壊防止事業費
		施策分野	災害対策・危機管理	4		予算事業	2	急傾斜地崩壊防止事業費	
				5					

事業概要	・急傾斜地指定区域の保全を踏まえた計画的な崩壊防止対策事業を行う。
事業の成果 （課題・反省 点を含む）	・急傾斜地崩壊防止対策事業の実施により、急傾斜地指定区域における土砂災害を防止した。
今後の展開 （事業の成果を 踏まえた今後の 展開）	・急傾斜地指定に向け個別の計画を立てていくとともに、効率的な崩壊防止対策事業計画を策定し、事業の進捗を図る。

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		町内の急傾斜地指定区域における土砂災害対策事業を推進し地域の安全確保に努めた。 ・菅沼天神下(B)急傾斜地崩壊防止工事(菅沼) ・菅沼天神下(B)急傾斜地用地測量業務委託(菅沼) ・土砂災害ハザードマップ作成業務委託(成美地区)	町内の急傾斜地指定区域における土砂災害対策事業を推進し地域の安全確保に努める。 ・竹之下神田急傾斜地測量設計業務委託(竹之下) ・土砂災害ハザードマップ作成業務委託(明倫・足柄・北郷地区)			
	事業費 （千円）	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳	国・県支出金	9,250	3,589	0	0
		地方債	11,900	6,000	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0
		一般財源	4,148	2,880	0	0
		事業費計	25,298	12,469	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

防犯推進事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		企画総務部 総務課		1	生活安全のまちづくり推進事業	予算科目	款	2	総務費
新番号	20801	総計コード①	2-8	2	防犯灯整備事業		項	1	総務管理費
旧実施計画 事業番	203	基本目標	安心・安全なまち	3			目	6	自治振興費
		基本施策	交通事故・犯罪のないまちづくり	4		予算事業	3	防犯推進費	
		施策分野	交通安全・防犯	5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小山中学校区防犯連絡協議会、北郷地区防犯連絡協議会、須走地域安全まちづくり連絡会の3団体の活動を事務局として支援する。</li> <li>・ 夜間の犯罪を未然に防止するため、区長会との情報共有を図り、防犯灯を整備する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成25年度から警察官OBを臨時職員として雇用し、生活安全相談員として小・中・高等学校や幼稚園・保育園のパトロールを開始した。また、地域包括支援センターと連携して高齢者世帯の見守りや、消費相談・何でも相談等での困難事例の対応を行っている。</li> <li>・ 防犯灯の設置は1灯30,000円を限度、維持は予算の範囲内(H26=380万円)で交付した。設置交付金については、26年度以降は器具を提供せず交付金を3万円に引き上げ、LED防犯灯の普及とした。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活安全環境の保全のため、生活安全相談員によるパトロールを継続する。</li> <li>・ 防犯灯のLED化による防犯能力の向上と経費の節減を図る。</li> <li>・ 危険な空き家等の所有者等に対し、助言・指導、勧告、支援、命令、公表、代執行を行う。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防犯パトロールの実施：週5日</li> <li>・ LED防犯灯の設置：10灯、取替え：2065灯</li> <li>・ 空き家対策：空き家等危険状態情報報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防犯パトロールの継続</li> <li>・ LED防犯灯の設置事業の継続 設置予定15灯</li> <li>・ 危険な空き家等の把握</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	1,000	1,000	0	0	0
	一般財源	12,574	10,087	0	0	0
	事業費計	13,574	11,087	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

交通安全推進事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		企画総務部 総務課		1	交通安全意識啓発事業	予算科目	款	2	総務費
新番号	20802	総計コード①	2-8	2			項	9	交通安全対策費
旧実施計画 事業番	206	基本目標	安心・安全なまち	3			目	1	交通安全対策費
		基本施策	交通事故・犯罪のないまちづくり	4		予算事業	2		交通安全推進費
		施策分野	交通安全・防犯	5					

事業概要	・交通安全意識啓発事業として、警察、区長会などと連携し、町民や町外ドライバーに対する啓発活動を実施する。また、交通事故発生件数を減らすため、幼児や高齢者に対する啓発に力を入れていく。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・春、夏、秋、年末の交通安全運動期間に交通安全啓発活動を実施することにより、事故発生件数が減少した。(H26:133件→H27:131件:2件減) しかし、高齢者の関わる交通事故は増加しているため高齢者に対する啓発を中心に実施する必要がある。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・今後も交通事故発生件数を減らすために、幼児・高齢者を中心に町民や来町者に交通安全啓発活動を実施する。

		平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全対策協議会(交通安全運動):年4回</li> <li>交通災害共済加入者数:</li> <li>交通安全教室:町内小学校対象10回</li> </ul> 交通安全指導員設置費負担金 (4人の人件費の1/2を按分 御殿場市 2/3 小山 町 1/3 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全対策協議会(交通安全運動)の開催</li> <li>交通災害共済加入促進</li> <li>交通安全教室の開催</li> </ul> 交通安全指導員設置費負担金 (4人の人件費の1/2を按分 御殿場市 2/3 小山 町 1/3 )			
	財源内訳 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	3,723	4,265	0	0	0
	事業費計	3,723	4,265	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

消費者行政事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		企画総務部 総務課		1	地方消費者行政活性化基金活用事業	予算科目	款	6	商工費
新番号	21001	総計コード①	2-10	2	消費生活センター充実事業		項	1	商工費
旧実施計画事業番	204	基本目標	安心・安全なまち	3	消費者育成指導事業		目	1	商工業振興費
		基本施策	賢い消費者の育成	4		予算事業	6		消費者行政費
		施策分野	消費生活	5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員の育成強化を通して相談体制の質の向上と消費生活センターの充実を図る。(消費生活センター充実事業)</li> <li>・消費者の安全、安心確保に向けた取組を強力かつ安定的に支援するため国からの交付金を活用する。(地方消費者行政推進事業)</li> <li>・町民が消費者被害にあわないために小山町消費生活センターの出前講座などにより、消費者教育の推進を図る。(消費者教育の推進事業)</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活に関する相談及び苦情98件を適正かつ効率的に処理し、町民の消費生活の安定と向上を図った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活センターにより、消費生活に係る相談、苦情の処理、情報の収集及び提供等を行う</li> <li>・消費生活相談員を配置し、架空請求・不当請求・ネット関連等複雑化する消費者トラブルの相談に対応する。</li> <li>・消費者教育の促進の為、高齢者等を対象とした出前講座を実施する。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		平成21年4月より消費生活センターを設置し、消費生活相談員を配置した。架空請求・不当請求・ネット関連等複雑化する消費者トラブルの相談98件を適切かつ効率的に処理した。	消費生活相談員を配置し、架空請求・不当請求・ネット関連等複雑化する消費者トラブルの相談に対応している。			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
財源内訳	国・県支出金	1,684	1,972	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	677	385	0	0	0
	事業費計	2,361	2,357	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

社会教育総務事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		教育部 生涯学習課		1	ボランティア支援センター事業	予算科目	款	9 教育費
新番号	30101	総計コード①	3-1	2			項	5 社会教育費
旧実施計画 事業番	148	基本目標	いきいきとしたまち	3			目	1 社会教育総務費
		基本施策	心豊かな生涯学習の推進	4		予算事業	2	社会教育総務費
		施策分野	生涯学習	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応援ボランティア事業の推進を図る。</li> <li>・NPO支援室により、各種団体等の活動支援や育成を行う。</li> <li>・社会教育委員、社会教育指導員、学校支援活動等コーディネーターを置き、社会教育の推進を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア支援センターの充実した活動によりボランティアの登録数が増えた。</li> <li>・社会教育指導員による不登校児や保護者の支援を行なう「金太郎教室」を実施し、適切な対応をすることができた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応援ボランティアを活用した事業を推進する。</li> <li>・NPO支援室により各種団体活動の支援やNPO交流大会を実施する。</li> <li>・家庭教育支援員を活用した家庭教育支援事業を実施する。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア支援センターにおいて講師の確保と派遣を実施</li> <li>・NPO支援室において各種団体を支援</li> <li>・金太郎教室を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア支援センターにおいて講師の確保と派遣を実施</li> <li>・NPO法人の設立、運営等に関する支援、NPO交流大会を実施</li> <li>・金太郎教室を実施</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	390	434	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	5,893	6,431	0	0	0
	事業費計	6,283	6,865	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

生涯学習推進事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		教育部 生涯学習課		1	自主文化事業	予算科目	款	9 教育費
新番号	30102	総計コード①	3-1	2			項	5 社会教育費
旧実施計画 事業番	151	基本目標	いきいきとしたまち	3			目	2 生涯学習推進費
		基本施策	心豊かな生涯学習の推進	4		予算事業	2	生涯学習推進費
		施策分野	生涯学習	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連携し、町民ニーズに応えた多彩な事業を実施する。</li> <li>各種教室、講演会、発表会等の生涯学習機会の充実を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術鑑賞会、ミュージカル、公開収録等の自主文化事業や「町民講座」や「ふるさと発見講座」の教養講座の他、各種趣味教室、子ども向け事業など町民のニーズに応えた多彩な事業を実施した。</li> <li>教室や団体の発表の場としての「町民文化祭」や「生涯学習フェスティバル」を開催し、生涯学習活動参画への契機とすることができた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「町民講座」や「ふるさと発見講座」の教養講座の他、子ども向け事業を継続的に開講する。</li> <li>富士山と世界文化遺産の構成資産について学習できる機会を設ける。</li> <li>生涯学習推進講演会を継続的に開催する。</li> <li>「生涯学習フェスティバル」を継続的に開催し、教室や団体等の生涯学習活動を発表できる機会を設ける。</li> <li>文化会館等運営協議会を設置し、指定管理者との協働により生涯学習事業の推進を行う。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)	
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術鑑賞会、ミュージカル等の自主文化事業を開催(富士山学習含む)</li> <li>「町民講座」や「ふるさと発見講座」の教養講座の他、趣味教室、子ども向け事業を開催</li> <li>生涯学習推進講演会を開催</li> <li>教室や団体の発表の場として「町民文化祭」、「生涯学習フェスティバル」を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民講座、ふるさと発見講座等の教養講座を開催(富士山学習含む)</li> <li>「わくわく科学教室」などの子ども向け事業を開催</li> <li>県と共催で生涯学習推進講演会を開催</li> <li>教室や団体の発表の場として「町民文化祭」、「生涯学習フェスティバル」を開催</li> </ul>				
	事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
		国・県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他特定財源	60	60	0	0	0
一般財源		1,991	2,157	0	0	0	
事業費計	2,051	2,217	0	0	0		



平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

図書館管理運営事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		教育部 生涯学習課		1	図書館サービス推進事業	予算科目	款	9 教育費
新番号	30103	総計コード①	3-1	2			項	5 社会教育費
旧実施計画 事業番	153	基本目標	いきいきとしたまち	3			目	3 図書館費
		基本施策	心豊かな生涯学習の推進	4		予算事業	2	図書館管理運営費
		施策分野	生涯学習	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものころから読書の習慣を身に付けるよう、おはなしの会などを充実させるとともに、ブックスタート、セカンドブック事業を実施する。</li> <li>・図書館の運営方針について研究し運営指針を策定する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート、セカンドブック事業の実施、図書館ボランティアによる「お話の会」、「ぺんぎんランド」で読み聞かせを実施することにより、幼少期に本に触れる機会の拡大を図ることができた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町子ども読書活動推進計画に基づいた事業を実施。</li> <li>・指定管理者との協働により、利用しやすく、地域や町民に役に立つ図書館づくりを推進。</li> <li>・おはなしの会など読書に触れ合う機会を提供。</li> <li>・学校図書館との連携について検討を行う。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート、セカンドブック事業を実施</li> <li>・『小山町の図書館』を刊行</li> <li>・図書館教養講座を開催。</li> <li>・図書館ボランティアによる活動（「お話の会」「読み聞かせ」等）を開催</li> <li>・町内中学生を職場体験事業として受入</li> <li>・移動文庫の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート、セカンドブック事業を実施。</li> <li>・『小山町の図書館』を刊行</li> <li>・図書館ボランティアによる活動を支援</li> <li>・こども読書活動推進計画を策定</li> <li>・指定管理者による運営（読書通帳、新検索システム導入）</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	10,914	2,641	0	0	0
	事業費計	10,914	2,641	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

文化財事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		教育部 生涯学習課		1	文化財調査・活用事業	款	9	教育費
新番号	30201	総計コード①	3-2	2	文化財教室事業	項	5	社会教育費
旧実施計画 事業番	150	基本目標	いきいきとしたまち	3		目	1	社会教育総務費
		基本施策	地域文化の振興と青少年の育成	4		予算事業	4	文化財費
		施策分野	地域文化・地域社会	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財的な価値のあるものを調査し、町指定文化財などへ指定し文化財の周知と保護を推進する。</li> <li>文化財や伝統文化に関する事業を開催し文化財等への関心を高める。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「町民講座」や「ふるさと発見講座」において文化財に関する教養講座を開催し、伝統文化や文化財に対する関心を高めることができた。</li> <li>足柄峠の歴史的価値を広めるために総合学術調査を実施した。</li> <li>町指定文化財に向け、藤曲浅間神社の二宮金次郎追悼墓碑の文化財的価値を調査し、指定への一助となった。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「町民講座」や「ふるさと発見講座」を継続的に開催し、文化財に対する関心を高める。</li> <li>町内の文化財調査を進めるとともに、文化財の周知と保護を推進する。</li> <li>町内の文化財を学習するために、文化財説明用副読本や調査報告書等を刊行する。</li> <li>文化財保護基金を活用し、町内の文化財の適切な保存を図る。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>町文化財保護審議会を開催</li> <li>足柄峠の総合学術調査を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>足柄峠総合学術調査報告書を刊行</li> <li>新たに「藤曲浅間神社の二宮金次郎墓碑」を町指定文化財に指定</li> <li>富士浅間神社に国指定史跡の標柱と世界遺産記念銘を設置</li> <li>須走口登山道の調査を県と共同で実施（H27～29）</li> <li>森村橋整備計画を策定</li> <li>町民講座で世界遺産に関する講座を開催</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	1,633	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	20	10	0	0	0
	一般財源	764	2,696	0	0	0
	事業費計	784	4,339	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

青少年健全育成事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	30202	教育部 生涯学習課		1	青少年地域社会参画事業	款	9	教育費
旧実施計画 事業番	149	総計コード①	3-2	2		項	5	社会教育費
		基本目標	いきいきとしたまち	3		目	1	社会教育総務費
		基本施策	地域文化の振興と青少年の育成	4		予算事業	3	青少年健全育成費
		施策分野	地域文化・地域社会	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種機関と連携し、健全な青少年の育成を図るため、地域活動への参加等の情報提供や各種支援を行うとともに、職場体験などの各種事業を推進する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会を開催し、関係機関、各種団体からの状況報告と意見交換等を実施することができた。</li> <li>・中学生ボランティア事業により、地域とのつながりや青少年教育の一環となった。</li> <li>・職場体験事業における事業所の斡旋や調整を行い、幅広い職種の事業所で体験することができた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会や青少年補導員会を開催し、各種団体との情報交換を行う。</li> <li>・青少年に関わる団体へ助成し、活動を支援する。</li> <li>・成人式において定住促進事業等のPR、情報発信を行う。</li> <li>・中学生ボランティア活動、職場体験事業を実施し、地域社会での活動を推進する。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会や青少年補導員会を開催</li> <li>・青少年に関わる団体への助成、支援</li> <li>・成人式の開催</li> <li>・中学生ボランティア活動を実施</li> <li>・職場体験の事業所斡旋と調整</li> <li>・べんぎんランドを開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会や青少年補導員会を開催</li> <li>・青少年に関わる団体への助成、支援</li> <li>・成人式の開催</li> <li>・中学生ボランティア活動を実施</li> <li>・職場体験の事業所斡旋と調整</li> <li>・べんぎんランドを開催</li> <li>・小中学校芸術鑑賞会を支援</li> </ul>			
	財源内訳					
事業費 (千円)	決算額		予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	650	0	0	0
	一般財源	1,755	2,572	0	0	0
事業費計	1,755	3,222	0	0	0	

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

社会体育振興事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		教育部 生涯学習課				予算科目	款	9 教育費
新番号	30301	総計コード①	3-3	1 スポーツ大会事業			項	6 保健体育費
旧実施計画 事業番	160	基本目標	いきいきとしたまち	2 スポーツ教室事業			目	1 保健体育総務費
		基本施策	スポーツ・レクリエーション活動の振興	3		予算事業	2	社会体育振興費
		施策分野	スポーツ・レクリエーション	4				
				5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種大会を開催し、健康増進を図る。</li> <li>・NPO法人小山町体育協会、指定管理者と連携し町民のニーズに応えたスポーツ教室、大会等を開催する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ教室や大会を開催することにより、町民のニーズに応えた事業を実施することができた。また、スポーツに対する満足度を向上させることができた。</li> <li>・各種団体への助成、支援を実施することにより、町民のスポーツ活動の向上、健康増進に寄与することができた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の活動や各種大会を充実させ、気軽にスポーツが楽しめる環境を整備する。</li> <li>・各種スポーツ関係団体、サークルなどの活動の支援や育成を行い、体育施設利用率を向上させる。</li> <li>・NPO法人小山町体育協会の活動を支援する。</li> <li>・全国大会等出場者の支援を行う。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベント推進委員会開催</li> <li>・町民体育大会を開催</li> <li>・スポーツ推進委員によるスポーツ推進の日の充実</li> <li>・レクスポ大会等を開催</li> <li>・生涯スポーツ人材育成事業を実施（H26~27）</li> <li>・全国大会等出場者奨励</li> <li>・各種スポーツ団体への助成、支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベント推進委員会開催</li> <li>・町民体育大会を開催</li> <li>・地域活性化推進事業実施</li> <li>・生涯スポーツ人材育成事業を実施（H26~27）</li> <li>・レクスポ大会等を開催</li> <li>・全国大会等出場者奨励</li> <li>・各種スポーツ団体への助成、支援</li> <li>・東海四県スポーツ推進員研修参加</li> </ul>			
	財源内訳 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	2,896	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	1,482	887	0	0	0
	一般財源	8,895	12,278	0	0	0
	事業費計	10,377	16,061	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

事務局事務事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		教育部 こども育成課		1	小山町教育基本構想策定事業	予算科目	款	9	教育費
新番号	30401	総計コード①	3-4	2			項	1	教育総務費
旧実施計画事業番	8	基本目標	いきいきとしたまち	3			目	2	事務局費
		基本施策	生きる力を育む学校教育の充実	4		予算事業	2		事務局事務費
		施策分野	学校教育	5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町の教育の長期的な構想を作成し、一人ひとりの個性を大切にした教育を推進するとともに、児童生徒の学力向上のため、教職員に対し、授業アドバイザー、専門監、指導主事による指導を推進します。</li> <li>・学校施設の長寿命化計画を策定します。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アドバイザーの配置により授業力、教師力の向上が図れた。</li> <li>・富士登山受入事業は平成27年度で3回目を数え、姉妹町3市・1町の小中学生が参加し世界遺産「富士山」の雄大さ、登ることの楽しさ・過酷さを感じ、富士登山を通して交流が図れた。</li> <li>・富士登山受入事業はスケジュール的な余裕を作る事が課題である。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの個性を大切にした教育を推進します。</li> <li>・児童生徒の学力向上のため、教職員に対し、授業アドバイザー・専門監・指導主事の指導を推進します。</li> <li>・姉妹市町富士登山交流事業を充実させ、参加児童・生徒の体力的負担とならないスケジュールとしていきたい。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		授業アドバイザーの配置 総括支援員の配置 社会科副読本編集作業 各種委員報酬 各種負担金 富士登山ツア-受入事業交付金(勝央町、福知山、北茨城市)	授業アドバイザーの配置 総括支援員の配置 各種委員報酬 各種負担金 富士登山ツア-受入事業交付金(勝央町、福知山、北茨城市、三木市)			
	事業費 (千円)					
		決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
財源内訳	国・県支出金	0	4,474	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	800	0	0	0
	一般財源	11,950	4,669	0	0	0
	事業費計	11,950	9,943	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

子ども相談事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		教育部 子ども育成課		1	子ども相談室推進事業	予算科目	款	9 教育費
新番号	30402	総計コード①	3-4	2			項	1 教育総務費
旧実施計画 事業番	11	基本目標	いきいきとしたまち	3			目	2 事務局費
		基本施策	生きる力を育む学校教育の充実	4		予算事業	5	子ども相談事業費
		施策分野	学校教育	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに悩む保護者等に対し、相談体制の充実を図る。</li> <li>・子ども相談員を2人配置し、幼稚園、保育園及び小中学校を巡回し児童及び生徒の状態を把握する。</li> <li>・子ども相談室「なのはな」で保護者等からの相談を受け、適切な指導を行う。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに悩む保護者からの相談を受け、1人ひとりのニーズ合った取り組みが出来た。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども相談室「なのはな」の相談しやすい体制をの充実を図ります。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）			
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども相談員配置</li> <li>・子ども相談室相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども相談員配置</li> <li>・子ども相談室相談</li> </ul>						
	(千円) 事業費 財源内訳	決算額		予算現額		予算要求額		計画額	
		国・県支出金	0	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	0	
		その他特定財源	0	0	0	0	0	0	
一般財源		2,459	2,407	0	0	0	0		
事業費計		2,459	2,407	0	0	0	0		

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

特別支援教育事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		教育部 こども育成課		1	特別支援教育事業	予算科目	款	9	教育費
新番号	30403	総計コード①	3-4	2			項	1	教育総務費
旧実施計画 事業番	10	基本目標	いきいきとしたまち	3			目	2	事務局費
		基本施策	生きる力を育む学校教育の充実	4		予算事業	4	特別支援教育費	
		施策分野	学校教育	5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を必要とする子どもが増加しているなかで、特別支援教育の充実を図る必要がある。</li> <li>・支援を必要とする子ども達は全体の指示による行動は難しいことなどがあり、状況に応じて個別に指導できる体制をつくることが求められる。小学校等の特別支援員を確保するとともに、低学年支援等との関連など柔軟な体制の確立を目指す。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体指導では十分な理解のできない園児・児童・生徒が特別支援教育の支援員による個別対応によって、理解度が高まっている。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育を進めることにより、支援の必要な園児・児童・生徒はもちろんのこと、園・学校全体のどの子どもたちにとっても分かりやすい活動・授業ができるようにしていく。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士による巡回相談（年間35回）</li> <li>・特別支援専門家チームによる支援を要する園児、児童及び生徒の検討（年間4回）</li> <li>・御殿場特別支援学校教育振興会助成（近隣市町が助成）</li> <li>・教育講演会及びカウンセリング講座講師謝礼</li> <li>・事務費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士による巡回相談（年間35回）</li> <li>・特別支援専門家チームによる支援を要する園児、児童及び生徒の検討（年間4回）</li> <li>・御殿場特別支援学校教育振興会助成（近隣市町が助成）</li> <li>・教育講演会及びカウンセリング講座講師謝礼</li> <li>・事務費</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	480	636	0	0	0
	事業費計	480	636	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

国際交流・姉妹都市交流事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	30501	企画総務部 町長戦略課		1	姉妹都市交流事業	款	2	総務費
旧実施計画事業番	193	総計コード①	3-5	2	国際交流活動事業	項	8	広報広聴費
		基本目標	いきいきとしたまち	3		目	1	広報広聴費
		基本施策	地域間交流・国際交流の推進	4				
		施策分野	地域間交流・国際交流	5				
						予算科目		
						予算事業	3	国際交流・姉妹都市交流費

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市との交流活動等を行うことにより、文化・観光交流等を促進・展開する。</li> <li>・国際姉妹都市との交流を深めることにより、国際的視野を持てる子どもたちの語学力等の向上を図る。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市等との交流は、互いの祭り等の行事や子ども等の世界遺産富士山の登山での交流を深める事が出来た。</li> <li>・国際交流については、小山町国際友好協会、小山町日中友好協会への助成により、主に学生交流事業（カナダミッション市へホームステイ）やカナダ大使館・中国大使館訪問等を実施し、友好を深める事が出来た。</li> <li>・英語弁論大会では、7名の中学生の参加があり、英語力の向上が図れた。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を踏まえた今後の展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流においては、カナダミッション市と行政間の正式訪問の実施や中・高校生の学生交流を進める。・学生交流においては、ミッション市への訪問、ホームステイ体験者数を増加させ、交流をさらに深め、中・高校生のグローバル、多文化、異文化認識の向上をめざす。</li> <li>・親善訪問の機会を契機ととらえ、教育・文化のみならず国際姉妹都市との観光やインバウンド効果をふまえた経済面への波及を模索する。</li> <li>・姉妹都市等との交流事業は、文化・スポーツ・観光・教育・農業・商工業など、様々な分野での交流を拡大する。</li> <li>・民間交流の活用も研究を続ける。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画  (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町日中友好協会において、日中友好ウォーク支援</li> <li>・小山町国際友好協会において幼児英会話教室、英語弁論大会、世界の料理教室の開催</li> <li>・姉妹都市等との祭り等交流の実施（岡山県勝央町・京都府福知山市）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町国際友好協会において、英語弁論大会、世界の料理教室等の開催</li> <li>・ミッションヘリテージパークセカンダリースクールの学生受け入れ（ホームステイ）（新規：250,000円）</li> <li>・小山町日中友好協会において、中国大使館視察及び座談会の開催</li> <li>・姉妹都市等との祭り及び文化交流の実施（岡山県勝央町・京都府福知山市）</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	3,168	3,382	0	0	0
	事業費計	3,168	3,382	0	0	0



平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

男女共同参画推進事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		教育部 生涯学習課		1	小山町男女共同参画社会づくり行動計画	予算科目	款	9	教育費
新番号	30601	総計コード①	3-6	2			項	5	社会教育費
旧実施計画事業番号		基本目標	いきいきとしたまち	3			目	1	社会教育総務費
		基本施策	誰もが活躍できる男女共同参画の推進	4		予算事業	6	男女共同参画推進事業費	
		施策分野	男女共同参画	5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画社会づくり行動計画を、町民や時代のニーズ等に則した内容で改定・推進することで、町民の男女共同参画に対する意識の醸成を図ります。</li> <li>講演会、研修会を開催し、男女共同参画の推進を図ります。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画講演会の開催や、男女共同参画週間に啓発活動を実施することで、町民の男女共同参画に対する理解を深めることができた。</li> <li>県主催の研修会に参加し、町職員の資質の向上を図ることができた。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次小山町男女共同参画社会づくり行動計画を策定する。</li> <li>男女共同参画講演会、研修会を開催し、引き続き町民の男女共同参画に対する意識の醸成を図る。</li> <li>県主催の職員研修に参加し、町職員の更なる資質向上を図る。</li> <li>広報、啓発活動を推進し、町民及び企業や各種団体の意識の高揚を図る。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画講演会を開催</li> <li>県主催の職員研修に参加</li> <li>第3次小山町男女共同参画社会づくり行動計画 (H25~H28) の進行管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画講演会を開催</li> <li>県主催の職員研修に参加</li> <li>第3次小山町男女共同参画社会づくり行動計画 (H25~28) の進行管理</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	8	64	0	0	0
	事業費計	8	64	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

企業立地振興事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		企画総務部 未来拠点課		1	小山町地域産業立地支援事業	予算科目	款	2 総務費
新番号	30701	総計コード①	3-7	2	富士山麓ビジネスマッチング促進事業		項	7 企画渉外費
旧実施計画事業番	294	基本目標	いきいきとしたまち	3			目	1 企画渉外総務費
		基本施策	活気ある工業の振興	4		予算事業	5	企業立地振興費
		施策分野	工業振興・企業誘致	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内陸のフロンティアを拓く取組に参画し、新東名高速道路等を活用した本町の土地利用構造である三来拠点事業を推進する。</li> <li>・企業立地の際、初期投資を抑え企業立地しやすくするため、用地取得に要した経費の一部を補助する。</li> <li>・町内企業への情報提供、マッチングコーディネートを推進することを目的として、静岡県富士山麓健康産業集積地構想の一環で実施している富士山麓ビジネスマッチング促進事業への負担金事業。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三来拠点事業において、地権者協議会等を設置し地権者の意見を集約し、進捗を図った。</li> <li>・静岡県内陸フロンティアを拓く取組推進区域の指定申請（5地区）を行い指定を受けた。（各地区の調査費を活用し委託事務を実施した。）</li> <li>・各地区事業における計画的な委託業務等が行われた。</li> <li>・企業局事業である小山湯船原工業団地の用地事務を受諾し、年度内98%の用地買収が終了した。</li> <li>・工場等の用地取得費と新規雇用に助成する静岡県の地域産業立地事業補助金に合わせた要件等について、最終精査を行った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山PA周辺地区での区画整理事業の確立（H30年度）</li> <li>・湯船原地区：小山湯船原工業団地の引き続き用地買収事務の実施（H27年度）、地区計画策定業務の検討（H29年度）</li> <li>・太陽光発電事業用地賃借事務の受諾による用地事務及び事務事業の実施（H27年度～H49年度）</li> <li>・木質バイオマス発電事業の計画策定（H27年度）</li> <li>・足柄SA周辺地区：SIC設置事業及びアクセス道路整備、周辺道路整備事業（H27年度～H30年度）</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）			
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		(仮称)小山パークエリア周辺事業：市場調査業務、測量設計業務 湯船原地区事業：流末水路調査設計業務、小山湯船原工業団地地権者調査業務 足柄地区：開発可能性、SIC概略、予備設計業務、測量業務 静岡県企業局事業の小山湯船原工業団地造成事業への協力 静岡県内陸のフロンティア推進区域の指定小山PA周辺地区、湯船原地区、足柄地区、富士小山わさび平地区、南藤曲地区	内陸のフロンティアを拓く取組と小山町将来土地利用構想事業の推進 小山PA周辺地区区画整理事業 湯船原地区：各ゾーニングでの造成事業計画事務 小山湯船原工業団地造成事業（用地事務・企業誘致）地下 水揚水試験業務の実施 足柄SA周辺地区：進出企業者、事業手法の確立 推進区域の追加・変更事務						
	事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額	
		国・県支出金	39,254	39,000	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	0	
		その他特定財源	303	350	0	0	0	0	
一般財源		61,410	62,339	0	0	0	0		
事業費計		100,967	101,689	0	0	0	0		

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

土地改良施設維持管理事業		担 当 部 課		記 入 者		該当する主要事業		会計区分		1	一般会計
		経済建設部 農林課						予算科目		款	5 農林水産業費
新番号	30802	総計コード①	3-8			1		項		1	農業費
旧実施計画事業番	21	基本目標	いきいきとしたまち			2		目		5	土地改良事業費
		基本施策	活気ある農林業の振興			3		予算事業		3	土地改良施設維持管理費
		施策分野	農林業			4					
						5					

事業概要	・老朽化した土地改良施設の改修、及び適正な維持管理をおこない、施設の機能保全と長寿命化を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・八重桐の池及び沼子弁天公園については、地区関係団体等に維持管理を委託し、適正に管理している。 ・棚頭地区農業用ため池の耐震性調査を実施した結果、当該成果をもとに耐震補強計画を策定し、補強工事を実施することとした。 ・多面的機能支払交付金制度の活用により、上野地区の農業用施設や農村環境の維持保全に寄与した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・農村公園や、ため池の維持管理については、地区関係団体等へ委託し、適正な維持管理を行う。 ・農業用ため池については、耐震化を図り、施設の安全性、能力を確保する。 ・多面的機能支払交付金制度の活用については、順次、実施地区を拡大していく。

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>農業用施設の管理委託業務（中島八重桐の池） H26年度委託費692千円</li> <li>多面的機能支払制度の推進 平成26年度上野地区町負担金254千円</li> <li>農業用ため池耐震対策の耐震調査業務 平成26年度（棚頭ため池）耐震調査費 4,104千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業用施設の管理委託業務（中島八重桐の池） H27年度委託費692千円</li> <li>多面的機能支払制度 平成27年度上野地区1,014千円</li> <li>農業用ため池耐震対策の基本計画策定業務 平成27年度（棚頭）計画策定費3,000千円 平成27年度（中島）実施設計負担金325千円</li> </ul>			
	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
事業費 (千円)	国・県支出金	4,000	769	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	13,978	0	0	0
	一般財源	2,082	2,367	0	0	0
	事業費計	6,082	17,114	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

中山間地域総合整備事業		担 当 部 課 経済建設部 農林課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	30805	総計コード①	3-8	1	農地基盤整備事業	予算科目	款	5 農林水産業費
旧実施計画 事業番	32	基本目標	いきいきとしたまち	2			項	1 農業費
		基本施策	活気ある農林業の振興	3			目	7 中山間地域総合整備事業
		施策分野	農林業	4		予算事業	2	中山間地域総合整備事業費
				5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性の高い農業推進のため、基盤整備事業（ほ場整備、農道、用排水路整備等）を促進する。</li> <li>県営中山間地域総合整備事業足柄金時地区及び北郷南西部地区の事業促進を図るとともに、新規地区採択に向けた調査を実施する。</li> </ul>
事業の成果 （課題・反省 点を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>県営中山間地域総合整備事業の実施により、ほ場区画及び農道、用排水路が整備されて、農作業の省力化に伴う効率性と生産性の向上に寄与した。</li> </ul>
今後の展開 （事業の成果を 踏まえた今後の 展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施中の足柄金時地区、北郷南西部地区について、事業の早期完成を目指す。</li> <li>中山間地域総合整備事業の新規地区採択に向けて、県単調査等を実施し、事業計画を策定する。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 （具体的に記入）		<ul style="list-style-type: none"> <li>足柄金時地区 所領・大胡田地区で、ほ場整備工事、下原・桑木・吉久保地区で、換地業務及び補完工事を実施した。 C=33,500千円</li> <li>北郷南西部地区 一色・下小林地区で、従前地評価等の換地業務を実施した。 C=11,500千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>足柄金時地区 所領・大胡田地区で、ほ場整備、農道工事、下原・桑木・吉久保地区で換地業務 C=120,000千円</li> <li>北郷南西部地区 一色・下小林地区で、実施設計及び換地計画原案作成 C=30,000千円</li> <li>新規採択検討地区 県単調査（事業構想） C=3,000千円</li> </ul>			
	事業費 （千円）	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	16,200	0	0	0
	その他特定財源	2,587	18,000	0	0	0
	一般財源	4,399	3,627	0	0	0
	事業費計	6,986	37,827	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

経営体育成基盤整備事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		経済建設部 農林課		1 農地基盤整備事業		予算科目	款	5 農林水産業費
新番号	30806	総計コード①	3-8	2			項	1 農業費
旧実施計画 事業番	33	基本目標	いきいきとしたまち	3			目	8 経営体育成基盤整備事業
		基本施策	活気ある農林業の振興	4		予算事業	2	経営体育成基盤整備事業費
		施策分野	農林業	5				

事業概要	・ほ場整備事業実施と併せて農地の利用集積を推進し、農地の有効利用と生産性の向上を図る。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・県営経営体育成基盤整備事業北郷北部地区は、平成26年度に上野、中日向工区の補完工事を完了させて、平成27年度の換地処分登記完了を目指している。 ・富士山清流の郷地区（一色・柴怒田・上小林地先）の新規事業採択に向けて、平成26年度に静岡県・御殿場市・小山町・各地区関係役員と会合を開催し、事業採択に向けて平成27年度から県単調査を実施することに決定した。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・北郷北部地区は、平成27年度に換地処分をおこない、事業完了となる。 ・清流の郷地区は、平成27～28年度にかけて県単調査を実施し、平成29年度から事業着手予定である。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>北郷北部地区の上野、中日向工区で補完工事を実施し、主な換地業務として字界変更を完了。 C=1,500千円</li> <li>清流の郷役員会（一色・上小林・柴怒田）を開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北郷北部地区は、換地計画書を作成し、登記も含めて全体事業を完了。 C=3,500千円</li> <li>清流の郷地区は、県単調査（受益調査、事業構想設計等）を実施。 小山町負担金 C=540千円×(25～50%)</li> </ul>							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	264	659	0	0	0	0	0	0
	事業費計	264	659	0	0	0	0	0	0	

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

農業振興事業		担 当 部 課 経済建設部 農林課		記 入 者		該当する主要事業		会計区分		1	一般会計
新番号	30807	総計コード①	3-8			1	地産地消推進事業	予算科目	款	5	農林水産業費
旧実施計画 事業番	108	基本目標	いきいきとしたまち			2	グリーン・ツーリズム関連事業		項	1	農業費
		基本施策	活気ある農林業の振興			3			目	3	農業振興費
		施策分野	農林業			4		予算事業		2	農業振興費
						5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種協議会への助成や負担金の交付を行い、担い手の育成や支援、担い手への農地利用集積や遊休農地の解消など農地の有効活用を進めるとともに、町内農産物の加工・販売などの6次産業化の取組や地産地消の推進、農作業体験などのグリーン・ツーリズムを推進することにより、農家所得の向上と町農業の活性化を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者は27人（4法人含む）で3人増加。家族経営協定も1組あり、担い手の増加がなされた。</li> <li>吉久保地域において人・農地プランを策定した。</li> <li>学校給食へは少量ではあるが、地場農産物を提供できたものの、定期的な供給体制の確立には至らなかった。</li> <li>農作業体験は、所領地区の港区小学校の受入、さつま芋の収穫体験、農業委員さんによるレッツゴーファームを実施した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>担い手の支援として経営体育成支援事業の活用や農地中間管理事業を推進する。</li> <li>学校給食への地場農産物の供給体制の確立と供給の拡大を図る。</li> <li>農作業体験、教育ファームなどの推進し、町内外の人々との交流の拡大を図る。</li> <li>6次産業化の推進として「峰の雪もち」を使った商品のPR・販売を進める。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）	
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体への負担金</li> <li>担い手の育成支援</li> <li>農地の有効活用の推進</li> <li>学校給食への地場農産物の供給体制の確立と供給の拡大</li> <li>農作業体験、食育事業の推進</li> <li>農業振興地域整備計画策定</li> <li>次世代施設園芸導入加速化支援事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体への負担金</li> <li>担い手の育成支援</li> <li>農地の有効活用の推進</li> <li>学校給食への地場農産物の供給体制の確立と供給の拡大</li> <li>6次産業化の推進</li> <li>農作業体験、食育事業の推進</li> <li>次世代施設園芸導入加速化支援事業の推進</li> </ul>				
	事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
		国・県支出金	0	157	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		6,761	3,727	0	0	0	
事業費計	6,761	3,884	0	0	0		

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

有害鳥獣対策事業		担 当 部 課 経済建設部 農林課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	30808	総計コード①	3-8	1	鳥獣害防止事業	予算科目	款	5 農林水産業費
旧実施計画 事業番	111	基本目標	いきいきとしたまち	2			項	1 農業費
		基本施策	活気ある農林業の振興	3			目	3 農業振興費
		施策分野	農林業	4		予算事業	3	有害鳥獣対策事業費
				5				

事業概要	・小山町鳥獣被害防止計画に基づき、行政、部農会、JA、農業共済、猟友会からなる「小山町鳥獣被害防止対策協議会」を中心に、広域的な被害防除を行う。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・鳥獣（イノシシ、ニホンジカ、ハクビシン等）による農林業に係る被害の軽減のため、緊急捕獲対策事業を実施した。捕獲頭数は、猪103頭、ニホンジカ179頭 計282頭で、H26の113頭と比較して大幅に増加。 ・野生獣肉利用の講習会へ参加し、食肉利用の検討を実施した。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・獣害に対する理解を深め、防御と捕獲の組み合わせや環境の整備など、地域ぐるみでの対策を推進するための講習会を開催する。 ・設置された侵入防止柵の管理を徹底し、被害防止に努める。 ・新たな担い手を確保すべく新規狩猟免許取得者の確保を目指す。

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・猟友会と連携し効率的な捕獲を図った。</li> <li>・鳥獣害の理解や捕獲の担い手を確保するために講習会などを実施した。</li> <li>・新規有害鳥獣捕獲従事者数を増やすための補助金を活用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害防止総合対策事業の活用</li> <li>・猟友会と連携し効率的な捕獲を図る。</li> <li>・鳥獣害の理解や捕獲の担い手を確保するために講習会などを実施する。</li> <li>・新規有害鳥獣捕獲従事者数を増やすための補助金の活用。</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額
	国・県支出金	0	3,750	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	729	998	0	0	0
	事業費計	729	4,748	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

林業総務事業		担 当 部 課 経済建設部 農林課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	30809	総計コード①	3-8	1	森林整備事業	予算科目	款	5 農林水産業費
旧実施計画 事業番	285	基本目標	いきいきとしたまち	2			項	2 林業費
		基本施策	活気ある農林業の振興	3			目	1 林業総務費
		施策分野	農林業	4		予算事業	2	林業総務費
				5				

事業概要	・再生可能エネルギーの利用促進や地球温暖化防止対策等を通じて、持続可能な森林の管理・経営へ向けた取組を実施する。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・森林資源の有効利用を図るため、町内における木質燃料ストーブの導入を推進し、環境保全に寄与した。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐材等の資材を再生可能エネルギーとして転用利用するための普及活動を行う。</li> <li>・木質燃料ストーブ導入の更なる推進を図る。</li> <li>・間伐等の森林整備を推進するため、森林認証やCO2クレジットを取得する。</li> <li>・新たに林業を担う人材を育成することで、産業育成と雇用創出に寄与する。</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		・木質燃料ストーブ導入者に対し、補助金を交付する。 補助額 1件 最大50,000円 決算額 6件 300,000円 ・木質バイオマス発電事業化調査業務	・木質燃料ストーブ導入者に対し、補助金を交付する。 補助額 1件 最大50,000円 予算額 6件 300,000円			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	3,458	657	0	0	0
	事業費計	3,458	657	0	0	0



平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

森林整備事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		経済建設部 農林課		1	森林整備事業	予算科目	款	5 農林水産業費
新番号	30810	総計コード①	3-8	2			項	2 林業費
旧実施計画 事業番	115	基本目標	いきいきとしたまち	3			目	1 林業総務費
		基本施策	活気ある農林業の振興	4		予算事業	3	森林整備事業費
		施策分野	農林業	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の持つ多面的機能の発揮のため、間伐等の森林整備を実施。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金を活用し木材集荷施設や加工施設の整備へ支援を行った。</li> <li>・森林経営計画の策定や高性能林業機械の導入等が進み、森林整備の効率化を図ることができた。</li> <li>・今後の課題としては、導入された施設や機械を有効に活用することにより稼働率の向上を図ることが重要</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営計画の認定率向上や施業の効率化により原木供給の安定供給を図るとともに、富士山金時材を中心とした地域材の普及促進を図り、循環型林業の構築を進める。</li> <li>・今後主伐期を迎える森林が多く、再造林の低コスト化等を進めるための鳥獣害対策を推進する。</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)					
		町有林の森林整備を促進するとともに、林業事業体等に対し、各種補助事業の助成を行う。 ※緊急雇用関連23,988千円 ※森林環境整備委託事業999千円 ※森林施業集約化促進緊急整備業務委託事業28,242千円 ※森林整備補助事業等24,665千円等	町有林の森林整備を促進するとともに、林業事業体などに対し、各種補助事業の助成を行う。 ※森林整備補助事業等15,873千円 ※町有林整備事業費22,500千円等							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	財源内訳	国・県支出金	47,598	14,162	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	31,404	24,716	0	0	0	0	0	0
		事業費計	79,002	38,878	0	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

林道整備事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	30812	経済建設部 農林課		1	森林整備事業	予算科目	款	5 農林水産業費
旧実施計画事業番	83	総計コード①	3-8	2			項	2 林業費
		基本目標	いきいきとしたまち	3			目	2 林道費
		基本施策	活気ある農林業の振興	4		予算事業	3	林道整備事業費
		施策分野	農林業	5				

事業概要	・効率的な森林整備と生産性の向上等のため、林道等の路網整備及び改良を推進する。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・林道の開設及び改良により、周辺森林の整備促進が図られた。しかし、未整備森林や未舗装林道も多く、森林施業の低コスト化を図るためには更なる開設・改良を進める必要がある。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・荒廃の著しい林道についてはコンクリート舗装等を進め、木材の搬出作業の低コスト化を図って行く ・林道未整備地域については新たな林道開設を進め、適切な森林整備により、森林の多面的機能の向上を図る ・災害時の迂回路、避難路となる林道の整備を進め、地域の防災・減災を図る

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町森林整備計画に基づき、町内林道開設及び部分改良の進行管理を行なう。</li> <li>・平成26年度工事 ※県単改良工事 林道峰坂線L=241m 林道竹之下金時線L=157m</li> <li>・平成27～33年度 林道金時線整備事業 町負担金3,996千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町森林整備計画に基づき、町内林道開設及び部分改良の進行管理を行なう。</li> <li>・平成27年度予定工事 ※県単改良工事 林道竹之下金時線 L=158.9m</li> <li>県単開設工事 林道立山線 L=160m</li> <li>・平成27～33年度 林道金時線整備事業 町負担金20,000千円</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額
	国・県支出金	3,600	15,560	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	21,060	0	0	0
	一般財源	15,022	24,274	0	0	0
	事業費計	18,622	60,894	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

観光振興事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		経済建設部 商工観光課		1	観光振興計画策定事業	予算科目	款	6 商工費
新番号	30901	総計コード①	3-9	2	地域資源活用イベント事業		項	2 観光費
旧実施計画事業番	104	基本目標	いきいきとしたまち	3	魅力PRガイド育成事業		目	1 観光費
		基本施策	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興	4		予算事業	2	観光振興費
		施策分野	観光交流	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の観光施策を計画的かつ戦略的に推進するための計画策定を行う。</li> <li>・地域資源を活用したイベントの充実や創出を推進し、観光交流人口の拡大を推進する。</li> <li>・本町の魅力をPRできるガイドを育成し、リピーターの増加を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興計画を策定した。</li> <li>・富士山金太郎まつり、笛まつり、もみじまつりを開催し集客が増えた。よりよい内容とするため検討していく。</li> <li>・町観光協会への運営費及び事業費の助成を行い町のPRを促進するとともに、まつり等各種の事業を共同して実施した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な富士山金太郎まつりを開催し、来場者を増加させ、観光振興を図る。</li> <li>・観光ボランティアガイドを育成し、町内外からの来訪者への対応の充実を図る。</li> <li>・金太郎を活用した観光振興及び交流人口の拡大。</li> <li>・H27年度に観光振興計画のアクションプランを作成し、H28年度から観光振興に関する施策を計画的に推進する。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興計画策定</li> <li>・富士山金太郎まつり、笛まつり、もみじまつりの開催</li> <li>・観光各種パンフレット作成</li> <li>・さくら病害虫防除</li> <li>・さくらテングス病防除</li> <li>・町観光協会助成金</li> <li>・おまつり助成金</li> </ul> ※観光交流客数 約415万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興計画のアクションプラン作成</li> <li>・富士山金太郎まつり、笛まつり、もみじまつりの開催</li> <li>・観光各種パンフレット作成</li> <li>・さくら病害虫防除</li> <li>・さくらテングス病防除</li> <li>・町観光協会助成金</li> <li>・おまつり助成金</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	23,963	19,212	0	0	0
	事業費計	23,963	19,212	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

富士山観光事業		担 当 部 課 経済建設部 商工観光課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	30902	総計コード①	3-9	1	地域資源活用イベント事業	予算科目	款	6	商工費
旧実施計画 事業番	135	基本目標	いきいきとしたまち	2			項	2	観光費
		基本施策	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興	3			目	1	観光費
		施策分野	観光交流	4		予算事業		4	富士山事業費
				5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山を活用した観光交流人口の拡大を推進する。</li> <li>・須走口観光客及び登山客が快適に過ごせるための環境保全や安全確保対策を図る。</li> <li>・須走口五合目の駐車場・観光案内所・公衆トイレの維持管理を行う。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五合目駐車場・観光案内所・公衆トイレの維持管理による観光客への利便の向上を図った。</li> <li>・下山道の整備補修及び下山道標識の設置管理、富士登山ナビゲーターの配置により須走口登山客の安全確保を図った。</li> <li>・ふじあざみラインマイカー規制の実施により、環境保全・渋滞対策が推進された。</li> <li>・須走口五合目の魅力と利便性を高めるためのビジターセンター設置や駐車場再整備などの計画について、環境省や県等関係機関との調整を行っている。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客・登山客の利便性向上と安全対策を図るため、五合目駐車場周辺及び下山道の整備を引き続き実施する。</li> <li>・五合目の再整備の中でビジターセンター設置や駐車場再整備について、関係機関と調整のうえ事業の早期実現を図る。</li> <li>・夏山登山だけでなく、秋の紅葉ハイキングなどのPRを行い集客を図る。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・五合目駐車場及び下山道の整備</li> <li>・登山パンフレット、ルート案内ビラの作成</li> <li>・観光案内所、五合目公衆トイレ管理委託</li> <li>・富士登山ナビゲーター配置業務</li> <li>・ふじあざみラインマイカー規制実施</li> <li>・富士山関係諸団体への負担金</li> <li>・五合目電化による送電ケーブル保守等維持管理、電気料、送電線施設使用料の負担</li> <li>・富士山世界遺産観光人材就職応援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五合目駐車場及び下山道の整備</li> <li>・登山パンフレット、ルート案内ビラの作成</li> <li>・観光案内所、五合目公衆トイレ管理委託</li> <li>・富士登山ナビゲーター配置業務</li> <li>・ふじあざみラインマイカー規制実施</li> <li>・富士山関係諸団体への負担金</li> <li>・五合目送電ケーブル保守等維持管理、電気料、送電線施設使用料の負担</li> <li>・富士山世界遺産観光人材就職応援事業</li> </ul>			
	財源内訳 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	5,900	1,200	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	4,968	12,845	0	0	0
	一般財源	22,874	13,136	0	0	0
	事業費計	33,742	27,181	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

交流人口拡大事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		経済建設部 商工観光課		1	地域資源活用イベント事業	款	6	商工費
新番号	30903	総計コード①	3-9	2		項	2	観光費
旧実施計画 事業番	136	基本目標	いきいきとしたまち	3		目	1	観光費
		基本施策	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興	4		予算事業		
		施策分野	観光交流	5		5 交流人口拡大事業費		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用したイベントの充実や観光キャンペーンを推進し、観光交流人口の拡大を推進する。</li> <li>・モータースポーツを活かしたまちづくりを推進する。</li> <li>・ゴルフ場利用促進のPR等を行う。</li> <li>・自転車を活かしたまちづくりを推進する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種自転車イベントを開催することにより、サイクリスト及び観光客増加を図った。(入込人数実績：ツアーオブジャパン500人、ヒルクライム1,500人、富士チャレンジ参加者2,082人、フジヴェロフェスタ参加者1,274人、ママチャリグランプリ参加1,306チーム)</li> <li>・近隣の市町や観光施設と連携し、観光キャラバンへ参加しPRを図った。(名古屋、東京、横浜等)</li> <li>・近隣の市町と協力して台北国際旅行博(ITF)へ参加し、エージェント訪問等を行うとともに、台湾からのインバウンド誘致を推進した。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種自転車イベントの充実を図り、サイクリスト及び観光客増加を図る。静岡県と共同してイタリアからのサイクリストを受入れ、町主催のイベントを実施する。</li> <li>・県内外に小山町の魅力をアピールし、観光客数の増加を図る。</li> <li>・近隣の市町や観光施設と連携し、魅力のある観光プロモーションを展開する。また、交流人口の拡大を推進するためのモニターツアーを検討、実施する</li> </ul>

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種自転車イベントの開催</li> <li>・台湾国際旅行博(ITF)への参加</li> <li>・自転車まちづくり事業</li> <li>・ゴルフ場の利用促進及びPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種自転車イベントの開催</li> <li>・台湾国際旅行博(ITF)への参加</li> <li>・首都圏開催のイベントへの参加</li> <li>・自転車まちづくり事業</li> <li>・ゴルフ場の利用促進及びPR</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	999	3,000	0	0	0
	一般財源	1,962	3,808	0	0	0
	事業費計	2,961	6,808	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

富士箱根トレイル等維持管理事業		担当部課 経済建設部 商工観光課	記入者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
新番号	30904	総計コード①	3-9	1	地域資源活用イベント事業	予算科目	款	6	商工費
旧実施計画事業番	139	基本目標	いきいきとしたまち	2			項	2	観光費
		基本施策	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興	3			目	1	観光費
		施策分野	観光交流	4		予算事業		7	富士箱根トレイル等維持管理費
				5					

事業概要	・恵まれた本町の自然環境を活かし、富士箱根トレイルをはじめとするハイキングコースのPRと維持管理を行い、観光交流人口の拡大を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・富士箱根トレイル等を適切に官民の協働により維持管理することにより、ハイカー等の安全性を確保し利便性の向上に努めた。 ・ガイドマップ等作成、トレイル等道標設置することで、ハイキングコースの案内及びPRができた。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・富士箱根トレイル(全長約43km)の適切な維持管理を行い、富士箱根トレイルの魅力を県内外にPRし、ハイカーの集客を図っていく。 ・官民協働の取り組みによる、ハイキングコースの維持管理と地域の活性化を図る。

		平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>富士箱根トレイル推進協議会の運営、ロゴマークの活用によるPR</li> <li>富士箱根トレイルを利用したハイキングイベントの実施</li> <li>ハイキングコース巡視、維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士箱根トレイル推進協議会の運営、ロゴマークの活用によるPR</li> <li>富士箱根トレイルを利用したハイキングイベントの実施</li> <li>官民協働によるハイキング道の整備実施</li> <li>ハイキングコース維持管理</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	3,996	3,632	0	0	0
	事業費計	3,996	3,632	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

観光施設管理運営事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		経済建設部 商工観光課		1	地域資源活用イベント事業	予算科目	款	6 商工費
新番号	30906	総計コード①	3-9	2			項	2 観光費
旧実施計画事業番	138	基本目標	いきいきとしたまち	3			目	1 観光費
		基本施策	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興	4		予算事業	6	観光施設管理運営費
		施策分野	観光交流	5				

事業概要	・観光施設の整備や維持管理を推進し、魅力ある観光スポットを充実させることで、観光交流人口の拡大を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・誓いの丘については、あじさい植樹と年間を通じての維持管理を行った。 ・金時公園については、再整備の基本構想策定、地元住民の意見聴取(サロン実施)を行った。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・誓いの丘については、駐車場、トイレ等の設置と維持管理を継続。 ・金時公園については、実施設計後、工事着手。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成26年度 (昨年度)	平成27年度 (本年度)	平成28年度 (来年度)	平成29年度 (2年後)	平成30年度 (3年後)					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>誓いの丘土地借上げ</li> <li>金時公園の整備構想の作成</li> <li>誓いの丘の整備</li> <li>公共トイレの維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金時公園再整備の基本設計</li> <li>誓いの丘土地追加借上げ</li> <li>誓いの丘の整備</li> </ul>							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他特定財源	74	100	0	0	0	0	0	0
		一般財源	5,340	5,125	0	0	0	0	0	0
		事業費計	5,414	5,225	0	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

商工業振興事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		経済建設部 商工観光課		1	農商工連携新商品開発事業	予算科目	款	6	商工費
新番号	31001	総計コード①	3-10	2	おやまブランド販売促進事業		項	1	商工費
旧実施計画 事業番	235	基本目標	いきいきとしたまち	3	おやまネットショップ事業		目	1	商工業振興費
		基本施策	にぎわいのある商業の振興	4		予算事業	2		商工業振興費
		施策分野	商業振興	5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街のにぎわいを創出するため、空き店舗の有効活用、創業・起業の支援を行う。</li> <li>・地場産品を活用した品質向上、新商品や「おやまブランド」の開発支援を行う。</li> <li>・地域住民を対象とした職業訓練事業実施の支援や中小企業勤労者の福利厚生支援を行う。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街活性化のためにタウンマネージャーを配置し、商店街主催の新たな取組みを実施するなど、様々な活動を行いながら商店主の意識改革や経営指導を行った。</li> <li>・他市町イベントへの出店・出品等を積極的に行い、地元特産品のPRを行い、売り上げの向上に寄与した。</li> <li>・町の駅で買い物弱者等への宅配サービス事業を展開し、利便性の向上を図るなどしているが、サービスの対象が町内の一部地域のみであるため、採算が取れない。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町商工会への助成を通じ、町内商工業の振興を図るとともに、イベント等において地元特産品の露出機会を拡大しPRを行う。</li> <li>・小山町農商工連携協議会への助成を通じ、地場産品を活用した品質向上、新商品や「おやまブランド」の開発支援を行う。</li> <li>・商店街のにぎわいを創出するため、空き店舗の有効活用や、創業・起業の支援を行う。</li> <li>・駅前観光案内所の指定管理と活用方法について検討する。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）				
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	小山町商工会への助成		小山町商工会への助成							
	農商工連携協議会への助成		農商工連携協議会への助成							
	商店街の活性化を目的としたタウンマネージャーの配置		商店街の活性化を目的としたタウンマネージャーの配置							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	国・県支出金	860		1,000	0	0	0	0	0	0
	地方債	0		0	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0		0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	10,723		9,875	0	0	0	0	0	0
	事業費計	11,583		10,875	0	0	0	0	0	0



平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

広域連携推進事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		企画総務部 町長戦略課		1	広域連携推進事業	予算科目	款	2	総務費
新番号	40101	総計コード①	4-1	2			項	7	企画渉外費
旧実施計画事業番	289	基本目標	計画の推進のために	3			目	1	企画渉外総務費
		基本施策	広域連携の推進	4		予算事業	7	広域連携推進費	
		施策分野	広域行政	5					

事業概要	・近隣市町村と富士山ネットワーク会議等による連携を促進し、広域的な行政課題に対する公共サービスの充実を図る。
事業の成果 (課題・反省点を含む)	・富士山ネットワーク会議・富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議(=SKY)・2市1町行政懇談会において、広域的な行政課題に対し、意見交換や視察等を通じ多くの研究を行った。 ・2市1町行政懇談会(御殿場・裾野・小山)の取り組みとして、日中友好ウォークや富士山世界遺産登録記念イベント等を共同開催し、また、富士山ネットワーク(富士・富士宮・裾野・御殿場・小山)の取り組みとして、ウルトラトレイルマウントフジの運営支援を行うことで、広域での観光交流振興の促進に寄与することができた。
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	・富士山ネットワーク会議・富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議(=SKY)・2市1町行政懇談会を活用し、事務の効率化・観光振興・地域の活性化等、広域で取り組める課題の検討や研究を、今後も継続して推進していく。 ・本町は3県の県境に位置していることから、小山町民の日常生活圏を意識し、静岡県内の近隣市町だけでなく、神奈川県及び山梨県の県境市町との広域連携についても、検討及び研究を行っていく。

		平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>富士山ネットワーク会議による環境・観光・防災などさまざまな分野での研究及び取り組み(UTMF事業は市町村振興協会補助事業)</li> <li>富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク(=SKY)による合同サミットに向けた協議</li> <li>2市1町行政懇談会(広域研究会)による広域課題に対する検討 H26合同事業：日中友好ウォーク、世界遺産登録記念イベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士山ネットワーク会議による環境・観光・防災などさまざまな分野での研究及び取り組み(UTMF事業は市町村振興協会補助事業)</li> <li>富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク(=SKY)による合同サミット</li> <li>2市1町行政懇談会(広域研究会)による広域課題に対する検討</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	1,830	500	0	0	0
	一般財源	1,351	1,578	0	0	0
	事業費計	3,181	2,078	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

財政管理事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		企画総務部 総務課		1	貸借対照表などの財務書類4表の作成・	予算科目	款	2	総務費
新番号	40201	総計コード①	4-2	2			項	1	総務管理費
旧実施計画 事業番	114	基本目標	計画の推進のために	3			目	2	財政管理費
		基本施策	健全な財政運営の確立	4		予算事業	2		財政管理費
		施策分野	財政運営	5					

事業概要	・中期財政計画の策定や新地方公会計制度に基づくバランスシートなどの作成、公表を行う。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・普通会計ベースでの財務諸表及び中期財政計画を策定し、公表することにより、財政運営の透明性を図った。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・統一的な基準による地方公会計の整備を推進していく。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)					
		財務諸表等の作成や中期財政計画の策定をし、町民に公表した。	財務諸表等の作成や中期財政計画の策定をし、町民に公表していく。							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	2,994	3,048	0	0	0	0	0	0
		事業費計	2,994	3,048	0	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

行財政改革推進事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計	
		企画総務部 町長戦略課		1	アウトソーシング推進事業	予算科目	款	2	総務費
新番号	40301	総計コード①	4-3	2	指定管理者制度推進事業		項	1	総務管理費
旧実施計画事業番	223	基本目標	計画の推進のために	3			目	2	財政管理費
		基本施策	効率的な行政運営の推進	4		予算事業	3		行財政改革推進事業費
		施策分野	行政運営	5					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的・効果的な行政運営の推進を図り、事業のムダを無くす。</li> <li>・組織改革の推進を図り、新たな行政課題や町民ニーズに対応する柔軟性・機動性を備えた組織を構築する。</li> <li>・町内施設の適正管理を推進する。</li> <li>・行政サービス改革の推進を図り、競争原理を取り入れた民営化、アウトソーシング、PFI/PPPなど市場メカニズムの導入を推進する。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総職員数平成22年224人に対して平成26年度8人減の216人としたが、平成27年度200人の目標値の達成は困難となっている。要因としては事務職員数は既に類似団体に比べ少なくなっている一方、類似団体に比べ多くなっている保育園・幼稚園の職員数について直営を継続していることが挙げられる。</li> <li>・職員定員のありかた、公の施設のありかたについて、行財政改革審議会部会の検討と並行して現況分析等を実施し、課題を明らかにすることができた。</li> <li>・生涯学習センターの体育施設に加え文化会館・図書館について指定管理者制度の導入を進め、平成27年度から実施することとなった。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員定数のありかた等の検討をふまえ、小山町の行政運営に必要な職員数を検討し定員管理計画を策定する。</li> <li>・指定管理者制度の推進だけでなく、適切な施設運営となるような取り組みを進める。</li> <li>・行財政改革審議会の答申に基づき、職員定数のありかた、施設のあり方等の検討を進める。</li> <li>・「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項」を参考にした業務改革を推進する。</li> <li>・マイナンバー制度を活用した利便性の向上・事務改善を進める。</li> </ul>

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革審議会事務局事務</li> <li>・公共施設白書作成</li> <li>・業務量調査実施、職員定員のありかた、事務委託等の検討</li> <li>・行政アドバイザー制度の拡充</li> <li>・マイナンバー制度に伴う業務改善の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革審議会答申を受けた施策検討</li> <li>・学校施設等のありかた</li> <li>・北郷支所のありかた</li> <li>・定員適正化計画策定</li> <li>・行政改革大綱策定(総計後期計画)</li> <li>・マイナンバー制度の対応、利便性向上・事務改善の検討</li> <li>・総合計画・実施計画における施策評価・事務事業評価の検討</li> <li>・行政アドバイザー活用</li> </ul>							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	4,246	1,587	0	0	0	0	0	0
		事業費計	4,246	1,587	0	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート (評価対象：平成26年度)

協働推進事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		企画総務部 町長戦略課		1	協働推進事業	款	2	総務費
新番号	40401	総計コード①	4-4	2	自治基本条例制定事業	項	1	総務管理費
旧実施計画 事業番	289	基本目標	計画の推進のために	3		目	6	自治振興費
		基本施策	町民との協働・共創	4		予算事業	4	協働推進費
		施策分野	協働	5				

事業概要	・公益的な地域活動と組織づくりを支援し、協働で地域コミュニティの活性化の推進を図る。
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	・平成25年度から平成26年度にかけて、町内5地域の協働活動の指針となる金太郎計画2020(×5本)の策定を協働で行い、平成26年度には、先行して計画が出来上がった2地域において、各種活動を開始した。 ・町民との協働により『小山町自治基本条例』を策定するため、策定委員会及び町民会議を立ち上げた。
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	・5地区の金太郎計画のそれぞれの基本方針に基づき活動を展開し、地域活性化や地域愛の醸成を図るとともに、地域の活動のキーマンとなる人材育成を図る。 ・自治基本条例に掲げる目指すべきまちの実現に向けて、条例の定めるところにより「参加と協働によるまちづくり」の推進を図る。

事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)	平成26年度(昨年度)	平成27年度(本年度)	平成28年度(来年度)	平成29年度(2年後)	平成30年度(3年後)					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーション研修(初級編)の実施</li> <li>・明倫地域金太郎計画2020策定</li> <li>・足柄地域金太郎計画2020策定</li> <li>・北郷地域金太郎計画2020策定</li> <li>・H25に策定済みの成美・須走は活動を開始</li> <li>・小山町自治基本条例策定業務委託(市町村振興協会補助事業) (策定委員会・町民まちづくり会議の開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山町自治基本条例策定業務委託(市町村振興協会補助事業) (策定委員会・町民まちづくり会議の開催)</li> <li>・5地域で金太郎計画2020の推進(市町村振興協会補助事業)</li> </ul>							
事業費 (千円)	決算額		予算現額		予算要求額		計画額		計画額	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源	833	2,352	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,404	1,508	0	0	0	0	0	0	0
	事業費計	2,237	3,860	0	0	0	0	0	0	0

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

自治振興事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
新番号	40402	企画総務部 町長戦略課		1	協働推進事業	款	2	総務費
旧実施計画事業番	287	総計コード①	4-4	2		項	1	総務管理費
		基本目標	計画の推進のために	3		目	6	自治振興費
		基本施策	町民との協働・共創	4		予算事業	2	自治振興費
		施策分野	協働	5				

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区長会と連携・情報共有し、暮らしやすい町づくりの推進を図る。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の運営交付金及び区長交付金の交付により、各地域の推進が図られた。</li> <li>・定期的に区長会及び幹事会を開催し、行政側からの情報伝達を行った。また、各区との情報共有を図ることができた。</li> <li>・地域担当職員の活躍により、各地域の推進協議会が活発になり、各種事業の展開がなされた。</li> <li>・各区の要望を取りまとめ、各課との調整を図った。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を踏まえた今後の展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区への運営交付金等について、継続的な助成実施をすることにより、各地区の運営が円滑に図れるようになる。</li> <li>・地域担当職員及び各地域推進協議会が主体となり、住民と協働したまちづくりの推進を図る。</li> <li>・屋外掲示板を全ての地区で取替設置することにより、各区の積極的な情報発信が可能になる。</li> <li>・区長会の継続的に開催し、行政の情報を伝え職員との情報交換を図っていく。</li> <li>・各区の新規・継続要望の案件を整理し、各課との調整を実施する。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区長交付金及び区運営交付金の交付</li> <li>・区長交付金：6,437,320円</li> <li>・区運営交付金：15,857,120円</li> <li>・区長会の開催 区長会：7回開催 幹事会：6回開催</li> <li>・各地区要望件数 512件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区コミュニティ施設修繕（所領地区コミ浄化槽修繕の実施）</li> <li>・地区屋外掲示板の取替11箇所（優先順位を決定し、H27年度から順次実施） 事業費：2,797,200円</li> <li>・須走地区（緑ヶ丘区）除雪機購入事業 除雪機3台購入 交付金：1,500,000円</li> <li>・区長交付金及び区運営交付金の交付</li> <li>・区長会及び幹事会の開催</li> <li>・各地区要望案件の整理</li> </ul>			
	事業費 (千円)	決算額	予算現額	予算要求額	計画額	計画額
	財源内訳					
	国・県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	4,280	0	0	
	一般財源	23,336	21,815	0	0	
	事業費計	23,336	26,095	0	0	

平成27年度 事務事業評価シート（評価対象：平成26年度）

広報広聴事業		担 当 部 課	記 入 者	該当する主要事業		会計区分	1	一般会計
		企画総務部 町長戦略課		1	情報公開推進事業	款	2	総務費
新番号	40403	総計コード①	4-4	2		項	8	広報広聴費
旧実施計画 事業番	194	基本目標	計画の推進のために	3		目	1	広報広聴費
		基本施策	町民との協働・共創	4		予算事業		
		施策分野	協働	5		2 広報広聴費		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙、無線放送、ホームページ、Facebook等により町政情報等の発信を行い、透明性の高い行政運営の推進を図る。</li> <li>・ 定例記者懇談会の開催し、マスメディアを活かした情報発信を推進する。</li> <li>・ シティプロモーション指針に基づき、町内外の人々に広く小山町の情報発信を行う。</li> </ul>
事業の成果 (課題・反省 点を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙を全戸に配布し町の情報等の発信に努めた。また無線放送により各種情報の発信に努めた。</li> <li>・ ホームページのリニューアルにより、観光情報ページやFacebookを利用して町内外に小山町の魅力等の情報発信に努めた。</li> <li>・ 定例記者懇談会を毎月開催し、報道関係者への情報発信に努めた。</li> <li>・ プロモーションビデオの作成に努めた。</li> <li>・ SNS等を活用し小山町の情報発信は行っているが、認知度向上させるための工夫が必要である。</li> </ul>
今後の展開 (事業の成果を 踏まえた今後の 展開)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き広報紙、無線放送、ホームページ、SNS等により町政情報等の発信を実施する。</li> <li>・ ホームページの各分野リニューアルを随時実施</li> <li>・ シティプロモーション指針に基づき、小山町の認知度向上を図るため各課の連携を強化していく。</li> <li>・ 関係各課において、小山町をPRするためプロモーションビデオを活用していく。</li> </ul>

		平成26年度（昨年度）	平成27年度（本年度）	平成28年度（来年度）	平成29年度（2年後）	平成30年度（3年後）
事業実績 及び 事業計画 (具体的に記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全世帯に広報紙おやま、広報おやまおしらせの全戸配布</li> <li>・ 無線放送、ホームページ、Facebookによる行政情報等の発信</li> <li>・ プロモーションビデオの作成 (H26・H27年度)</li> <li>・ 出前講座等の開催 (17回)</li> <li>・ 定例記者懇談会の開催 (12回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全世帯に広報紙おやま、広報おやまおしらせの全戸配布</li> <li>・ 無線放送・ホームページ・Facebookによる町政情報等の発信</li> <li>・ 広報おやま1日号を全面カラー版へ変更し、町民にわかりやすい紙面へ改編した。</li> <li>・ 広報おやまおしらせを偶数月隔月発行とし、発信情報の適正化を図った。</li> <li>・ 出前講座等の開催</li> <li>・ 定例記者懇談会の開催</li> <li>・ 小山町プロモーションビデオの作成</li> <li>・ シティプロモーション指針の策定</li> </ul>			
	事業費 (千円)	財源内訳	決算額	予算現額	予算要求額	計画額
	国・県支出金	0	1,836	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	300	0	0	0
	一般財源	17,710	10,344	0	0	0
	事業費計	17,710	12,480	0	0	0